

官

報

號外

明治三十二年三月五日 日曜日

印 刷 局

○第十三回 帝國議會 貴族院議事速記錄第四十號

明治三十二年三月四日(土曜日)午前十時十六分開議

議事日程 第四十號 明治三十二年三月四日

午前十時開議

第一 外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案

第一讀會

外國船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法案
同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出刑事訴訟法中改正法律案ノ回付
ヲ受ケタリ

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

上セル旨ノ通牒ヲ受領シタリ
同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

第三 遺失物法案(政府提出)

第一讀會

各委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

水先法案
外國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案外一件特別委員會
同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出沖繩縣土地整理法案ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

第五 律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

各委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

第六 律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

動產銀行法案特別委員會
委員長 侯爵久我通久君 副委員長 子爵由利公正君

第七 律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案外一件特別委員會
委員長 伯爵萬里小路通房君 副委員長 子爵舟橋遂賢君

第八 律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案特別委員會
委員長 中村元雄君 副委員長 森山茂君

第九 郡制改正法律案(議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會
○議長(公爵近衛篤齊君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、外國人又ハ外國法
律案(政府提出)

第十 中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年三月三日

第十一 法律案(三浦安君外)
(六名發議)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案
内閣總理大臣侯爵山縣有朋
外務大臣子爵青木周藏
司法大臣清浦奎吾

○議長(公爵近衛篤齊君) 報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

昨三日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出華族令中改正ニ關シ貴族院令第

八條ニ依リ御諮詢ノ件ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ奏上シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出領事官ノ職務ニ關スル法律案ハ即日衆議院ニ送付シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル區裁判所設置ノ請願外八件ノ請願ハ意見書ヲ付シテ即日政府ニ送付シタリ

同日本院ニ於テ可決シタル政府提出耕地整理法案ヲ受領シタリ

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領シタリ

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案

營業稅法中改正法律案

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

ヲ抵當ニ入レルコトガアリマシテ是等ノ場合ニモ同様ニ領事廳ニ於テ公認ヲ受ケテ居リマスル、コノ領事廳ノ公認ト申スモノ、效力ガ改正條約ノ實施後ニハ如何ニナルカ、日本ノ裁判所ニ争等ガ起リマシタ時分ニ裁判所ハ其公認ノ效力ヲ認メルカ否ヤト云フコトガ問題ニナリマスノデ若シ其效力ヲ認メト云フコトニナレバ外國人ハ更ニ日本ノ法律ニ依リテ登記ヲ受ケネバナラヌト云フコトニナリマス、更ラニ登記税ヲ拂テ登記ヲ受ケニヤナラヌ、ノミナラズ抵當權ノ如キ順位ヲ保ツコトノ必要ノアリマス場合ニハ新ニ登記ヲ受ケマスト、最初公認ヲ受ケタ時分ノ順位ヲ保ツコトガ出來ナイ、即チ權利上損害ヲ受ケルコトニナリマスノデソレ故ニ何トカ茲ニ規定ヲ設ケル必要ガアラウト存ジマスノデ或ハ更ニ登記ヲ受ケレバ其效力ガ以前公認ヲ受ケタ時分ニ溯ルトスルカ或ハ別ニ登記ヲ受ケマストモ領事ノ公認ヲ以テ登記ト見ルト云フコトニ致シマシテサウシテ其公認ノ帳簿ト云フモノヲ登記所ニ引繼シマスカ相當ノ規定ヲ設ケル必要ガアラウト存ジマスル、然ルニ從來領事ノ持フテ居リマス公認ト云フモノガ果シテ登記ト同一ニ看得ラレルモノアルカ、其實事實ヲ十分ニ調査致シマセヌケレバナラヌノデアリマス、又各國ノ領事ニ於キマシテ同一ノ手續ヲ致シテ居リマスカ或ハ多少不完全ナ所モアリ又極不完全ナ處モアルカモ知レマセヌノデ是等ノ錯雜ナル事柄ヲ調査致シマセヌケレバドウモ規定ヲ設ケル譯ニ参リマセヌ、然ルニ登記ハ登記法即チ法律ヲ以テ規定シテアリマスコトデ非法律ノ規定或ハ少クモ法律ノ委任ヲ必要トスルト云フ考デアリマス、ソレ故ニ本案ヲ提出致シマシタノデ、誠ニ法律案トシテハ不完全ナモノアリマスケレドモ今日会期モ切迫致シテ居リマス已ムヲ得ズスウ云フ案ヲ提出致シマシタカラ其邊ノ事情ハ宜シク御諒察ヲ願ヒタノデアリマス

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

○伯爵吉井幸藏君 是ヨリ水難救護法ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、別段御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ハ議長ノ選定ニ御依託致シマス
○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今ノ委員ハ議長ニ選定ヲセヨトノコトデアリマスガ昨日ノ國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案ト同一委員ニ付託スルト云フコトニシテハ如何デアリマセウ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、遺失物法案政府提出、第一讀會

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

右 遺失物法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年三月二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
内務大臣侯爵西鄉從道

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

○小原書記官朗讀

○伯爵吉井幸藏君 是ヨリ水難救護法ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、別段御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ハ議長ノ選定ニ御依託致シマス
○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今ノ委員ハ議長ニ選定ヲセヨトノコトデアリマスガ昨日ノ國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案ト同一委員ニ付託スルト云フコトニシテハ如何デアリマセウ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、遺失物法案政府提出、第一讀會

第一條 他人ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ遺失者又ハ所有者其ノ他物件回復ノ請求權ヲ有スル者ニ其ノ物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘシ但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ハ返還スルノ限ニアラス

第二條 警察官署ハ其ノ保管ノ物件滅失又ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ手數ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却スルコトヲ得

第三條 賣却費用ヲ控除シタル賣却代金ノ額ハ拾得物ト看做シテ之ヲ保管ス賣却處分ニ對シテハ出訴スルコトヲ得ス

第四條 拾得物ノ保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ物件ノ返還ヲ受クル者又ハ物件ノ所有權ヲ取得シ之ヲ引取ル者ノ負擔トシ民法第二百九十五條乃至第三百二條ノ規定ヲ適用ス

第五條 第二條ニ依リ賣却シタル物件ニ付テハ賣却代金ノ額ヲ以テ物件ノ金ヲ請求スルコトヲ得ス

第六條 第二條ノ費用及第四條ノ報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一箇月ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條 拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ價格百分ノ十ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ給スヘシ但シ國庫其ノ他公ノ法人ハ報勞

第八條 物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其ノ權利ヲ拋棄シテ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金辨償ノ義務ヲ免ルコトヲ得ス

第九條 第十六條ニ依リ處罰セラレタル者及拾得ノ日ヨリ七日內ニ第一條第一項又ハ第十一條第一項ノ手續ヲ爲ササル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ受クルノ權利並ニ拾得物ノ所有權ヲ取得スルノ權利ヲ失フ

第十條 管守者アル船車建築物其ノ他公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其ノ物件ヲ管守者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ船車建築物等ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己ノ管守スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ

本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折半スヘシ

第十一條 犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其ノ物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ

前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一箇年間還付ヲ受クル者ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス

犯罪搜查ノ爲必要ナルトキハ警察官ニ於テ公訴權消滅ノ日マテ公告ヲ爲ササルコトヲ得

第十二條 誤テ占有シタル物件他人ノ置去リタル物件又ハ逸走ノ家畜ニ關シテハ本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ誤テ物件ヲ換易シタル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 埋藏物ニ關シテハ第十條ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ準用ス

學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其ノ所有者知レサルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス此ノ場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ給スヘシ

埋藏物ノ發見者ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ

本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六箇月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十四條 本法及民法第二百四十條第二百四十一條ノ規定ニ依リ物件ノ所有權ヲ取得シタル者取得ノ日ヨリ一箇年内ニ物件ヲ警察官署ヨリ引取ラサルトキハ所有權ヲ喪失ス

第十五條 本法ノ規定ニ依リ警察官署ニ保管スル物件ニシテ交付ヲ受クル者ナキトキハ其ノ所有權國庫ニ歸屬ス

第十六條 拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隠匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ刑法第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ルトキハ之ヲ論セス
止ス

第十七條 明治九年第五十六號布告遺失物取扱規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢附則

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 遺失物法案ノ提出ニナリマシタ理由書ヲチヨコト一言申述ベマス……理由ヲ、現行ノ遺失物規則ハ明治九年ニ發布ニナリマシテ既ニ創立日久シテ今日ニ至リマシテ事實不便ナコトガアリマシテ是非之ヲ改正セザルヲ得メト云フ場合ニ到達致シテ居リマス、然ノミナラズ民法ニ於キマシテ第二百四十條及二百一條ニ於テ遺失物及埋藏物ニ關シテハ特別法ニ定ムル所ニ於テ所有權ヲ異ニスルト云フ旨ヲ規定セラレテアリマス、是ニ依テ現行法ノ不完全ナル遺失物取扱規則ハ最モ改正ノ必要ヲ感ジマス、依テ本案ヲ提出致シマシテ右等ノ民法ト相伴フテ行ハレンコトヲ期レマス次第ニアリマス、此段ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵鍋島直虎君 本案ノ委員モ議長ノ選定ニ御委託致シタウゴザイマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治二十三年法律第九十號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續 特別委員長報告

(久保田謙君演壇ニ登ル)

○久保田謙君 報告ヲ致シマス、是ハ便宜ノタメニ今日ノ議事日程ニ載ステ居リマスル三ツノ法律明治二十三年法律第九十號中改正法律案、明治二十三年法律第九十一號中改正法律案、明治二十九年法律第十二號中改正法律案、是ハ何レモ皆學校ノ教員ノ退隱料ニ關係致シマシタ法律デ相關聯致シテ居リマスモノデゴザイマスカラ報告ハ併セテ陳述ヲ致シタイト存ジマス、此委員會ハ二月二十八日、三月一日、三月三日三回開會ヲ致シマシテ精密ニ調査ヲ致シマシテゴザイマス、ソレカラ九十一號ノ法律ハ學校ノマスル中ニ色ニ澤山修正ニナツテ居リマスルガ詰リ小學校ノ教員カラ國庫ニ納メマス納付金ヲ廢スルト云フコトデアリマス、其他ハ不備ノ點ヲ補ツタリ文字ノ改正ヲ致スコトニ止ムテ居リマス、ソレカラ九十一號ノ法律ハ學校ノ舍監ト云フモノヲ加ヘテ舍監ニモ恩給ヲ給スルト云フコトノ趣意デアリマス、ソレカラ十二號ノ法律ハ教員ガ轉任ヲ致シマシタトキニ年限ヲ通算ヲ致ス所ノ法律デアリマス、色ニ細ニ澤山ゴザイマスルガ大體ハ、ソレダケノ法律デアルノデアリマスソレテ政府ノ趣意ハ小學校教員ガ薄給ニシテ納付金杯ヲ納メルノハ甚ダ酷デアリマスカラ成ルベク教員ヲ優待スル趣意デ納付金ヲ廢スルト云フコトニ附イテ其趣意デ委員會セ段々調査致シマシテ此退隱料ノ規則ヲソレカラ積算ヲ致シマシテゴザイマスルガ右ノ政府ノ趣意ニ依リマシテ調ペマスルト尙ホ他ニ改正ヲ要スルコトガ一二部アタノアリマス、ソレデ現在小學校ノ教員竝ニ中學校師範學校ノ教員等ガ恩給ヲ受ケテ居リマス所ノ人數、ソレカラ金額等ヲ取調べテ見マスルニ文武官吏ノ恩給ヲ受ケテ居リマス人數、ソレカラ金額等ヲ取調べテ見マスルニ文武官吏ノ恩給ヲ受ケテ居ル人數ハ四万三千人程人數ガゴザイマシテ唯今恩給退隱料ヲ受ケテ居ル人數ハ僅カニ五十人外ナイヤウナ譯デアリマス、ソレカラ師範學校中學校等ノ教員デ二千四百人程ゴザイマシテ其中ニ恩給ヲ受ケテ居リマスモノハ僅カ十二人外ナイト云フノデアリマス、ソレカラ官吏ノ方ハ如何デアルカト云フト官吏ノ總體ガ三万九千人バカリアリマシテサウシテ恩給ヲ受ケテ居ルモノガ四千幾人アリマス、ソレカラ金額ハ七十三万五千ト云フヤウナ大變ナ非常ナ差ガアルノデ何故ニ此ノ如キ非常ナ差ガアルカト云フコトヲ調査致シマシタ所ガソリニハ種々ナ關係モゴザイマシテ官吏ハ勿論俸給ノ高イ人モ澤山ゴザイマスル、ソレカラ恩給年限ヲ歛ヘル所モ明治四年カラ歛ヘテゴザイマスカラ餘程長イ間ノコトニナクテ居リマス、サウ云フコトノ關係モ種々アリマスルガ如何ニモ官吏ト教員トノ恩給ノ權衡ガ甚ダ不權衡デ非常ナ差ガアリマスソレ故ニ此規則ニ附イテ段々調ペテ見マスト此小學校教員師範學校教員規則ハナカく嚴重ニ出

來テ居リマシテ恩給ヲ受クル所ノ權利ヲ失フ場合杯ハ甚ダ酷ニナクテ居リマス、ソレカラ退職ノ時分ニ給與金ヲ受ケマスルコトハ官吏杯トハ餘程違テ、テ居ルノモナクテ居リマス、ソレカラ又恩給ヲ請求致ス期限杯ガ非常ナコトニナクテ居ルノテ二箇月間ニ請求ヲ致サナイト其年限ハ數ヘラレナイト云フヤウニナクテ居リマス、是等ハ不權衡ノ實ニ甚ダシイモノニアリマシテ斯様ナ不權衡ニナクテ居ルノモ餘程ノ原因ガアツテ恩給ヲ受ケルコトガ出來ヌヤウニナクテ居ルノデアラウト考ヘラレマス、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ委員ノ全會一致ヲ以テ此法律ハ政府が教員ヲ優遇スルト云フコトノ趣意ハ至極宜シイ趣意アルカラ此法ヲ責メテハ官吏ト同一ニ官吏ノ受ケル恩典ト同一ナル程度ニ改良シテサウシナ決定ニナクタ方ガ宜カラウト云フ議デアツクノデアリマス、其趣意ヲ以テ改良ヲ致シマシタソレデ此箇條ハ多々アリマスカラ箇條ニ附イテハ一々申上ゲマセヌガ唯ニ大趣意ダケヲ簡短ニ申上ゲテ置キマス、ソレデ委員が修正ヲ致シマシタノハ權利ヲ失ヒマス場合即ち小學校教員退隱料及遺族扶助料第五條ニ權利ヲ失フ場合ガ書イテゴザイマスガ是ニハ五箇條バカリゴザイマシテ中ニハ知事、ノ許可ヲ經ズシテ校務ニ就クヤウニ健康モ權利ヲ失フ、ソレカラ一日恩給ヲ受ケテ後ニマタ教職ニ就クヤウニ健康新タトキニ教職ニ就カナイ者ガアツテモ是デモ退隱料ヲ受ケル權利ヲ失フ、ソレカラ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタトキニ退隱料ヲ受ケル權利ヲ失フ、

イ、又提出ノ意見タルヤ寶ニ單簡ナル意見デアリマス、ソレデ此案ニ附イカ
政府委員等ニ委シク質問モシマシタ所ガ此諸君モ御承知ノ如ク大體ハ此改正
案ト云フモノハ複選法ヲ廢シ竝ニ大地主ノ制ヲ廢スルト云フノガ主眼デ、ソ
レデ色ニ改正ノコトモアリマスガ是ハ要スルニ其結果又其主眼トスベキモノ
ダナトソダアリマス、ゲ太員等ノ主張トスレ複選制、クンカラ大地主制ヲ

ヘバモウ少シ鄭重ニ考ヘテ改正サレルノヲ希望スルノデ今日ノ短期ニ迫テ
變ヘル必要ガナイト思ヒマスカラソレニ反對スル所以デアリマス、尙ホ委シ
イコトハ同意者カラモ發議サレヤウト思ロマスカラ私ハ是ダケノコトヲ單ニ
述べテ置キマス、願クハドウゾ此意ヲ御了解下サレンコトヲ希望致シマス

改正案ヲ施イテ地方制度ニ至ッテ大ニ我等ハ感シヲ持ッタ譯デアリマス、ソレデ此ジマス、既ニ政府委員モ辯ゼラレタ如ク複選制ト云フモノハ甚ダ不都合ナモノデアッテ、地方ニ於テハ下級團體ノモノニ至ッテ上級ノ議會抔ノコトヲ望シテ、ソレニ選出スル議員ノコトニ至ッテ競争ハ實ニ少カラヌ話デ、又其黨派ニ附イテモ色ニ競争ガアツテ甚ダ不都合ニアル、デ是ハ是非今日複選制ト云フモノハ廢サネバナラヌト云フノガ理由デ、色ニ細イコトモアリマシタガ大意ハサウ云フコトデゴザイマス、又大地主ニ至ッテハ色ニ議論モ説明モアリウ云フモノガアツテ議員改選ト云フコトニ附イテモ甚ダ弊ガアルト云フノガ先ツ大體ノ理由ト聞キマシタ、ソレテ複選ハ如何ニモ競争ノ弊モアリマセウカモ知リマセヌガ我等ノ信ズル所ハ卽チ此複選法ヲ廢シタ所ガ矢張今日ノ競争ト云フモノハ免レマトイト考ヘマス、或ハ下級團體カラ府縣會ノ議員モ選ブコトモ出來或ハ直接ニ選ベハ選ムニ附イテ競争モアリ、又郡ニ至ッテモサウ云フコトガアリマセウカラ強チ複選ニシタ所ガ競争ガ激シイ弊ガアルト云フコトバ認メナイ、又今日地方ニ至ッテ黨派競争熱ノ熾ナルト云フコトハ是ハ免レスコトデアツテ日ニニ熾ナルコトハ至當ノコト、私ハ認メマス、又大地主ヲ廢スルト云フコトニ至ッテモ一旦斯ノ如キ權ヲ得テ居ル者ヲ一朝ニシテ此權ヲ剝奪スルト云フハ如何ニモ穩ナラヌモノト考フノガ我等ノ主眼デアリマス、ソレデ卽チ此複選制ヲ廢シ大地主ヲ廢シテ一通り普通ノモノニシヤウト云フノハ如何ニモ大體自治制ヲ布イタ精神カラ考ヘテモ更ニ制度ハ一變スルニ違ヒナイ、既ニ政府委員ハ變リハナイト云フコトヲ言ハレマシタガ變リガナイト言ッテ政府委員モ沼ヶ辯ゼラレタカラニハ變リガアルト信ジテ居ルカラ、サウテ居ラレルニ違ヒナイ、拙者ニ於テハ變リガアルト信ジテ居ルカラ、サウ云フモノヲ今日ノ短議會ニ於テ議シテ一朝廢スルト云フコトハ甚ダ不都合ナモノト私ハ存ジマス、大體ノ論ハ今日是ダケノモノヲ改正シ一變シテシマフニ至ッテハ實ニ短期ノ會期ヲ以テ之ヲ輕々ニ通過シテシマフノハ甚ダ殘念ニ思フ、モウ少シ鄭重ニ審議ヲ遂ゲ又本年是非之ヲ改正セネバナラヌト云フ程ナ切迫ナモノデモナイト本員ハ思フ、ソコニ至ッテハ反對論者ト我ミト見解ノ達フ所デ、イツマデ議シタ所ガ論ハ乾ヌノデアリマス、要スルニ今議スペテ十數年ノ経験モアルト政府委員ハ言ハレマシタガ僅六七年ニ涉シテ十分ニ致究年ノ経験ト言フコトハ私ハ甚ダ取レナイ理窟ト思ヒマス、旁以テ簡短ニ言

○政府委員(松平正直君) 唯今府縣制改正法律案ノ委員會ノ少數意見トシテ
萬里小路伯爵ガ御述ニナリマシタコトニ附イテ一言申シマス、段々御述ベニ
ナリマシタガ其要點トスル所ハ複選法ヲ廢メルニ及バナイ、大地主ハ其儘ア
ルガ宜イト云フ御見込ノヤウニ伺クテ居リマシタ、其結局ニ至ッテ是ハ今議
スルモノデナリ否決スベシトスウ云フコトノヤウニ承知致シマシタ、大地主
廢スベカラズ又複選法廢スベカラズト云フ位ナラ確實ナル御意見ガアツテ委
員會ニ於テ相當ノ御修正ヲ提出ニナツタラ、イザ知ラズ單ニ短期ノ議會ニ之
ヲ議スベカラズ否決スベシト云フコトニ至リマシテハ實ニ政府ハ絕對的ニ
御不同意ヲ表セネバナラヌ、此府縣制改正法律案ハ成ルホド議會ニ於テハ
短日月短時期ト仰ツシヤルガ、併ナガラ必要ナル條項、又是マデ行來ヲタ所
ノ條項ニ至ッテハ今更之ヲ研究スル必要モナイ場所ガ多イノデアリマス、之
ヲ十分ニ研究スル暇ガナイト云フ程ニモ考ヘラレマセヌ、成ルホド政府ノ實
際ニ徵シテ見レバ七年八年ハ短イト云フ論ガアルカモ知リマセヌガ事創始ニ
屬シマシテ法律ヲ設ケナガラ已ムヲ得ズ改正シナケレバナラヌト云フコトハ
府縣制改正バカリデハアリマセヌ、其他ノ法律ニ於キマシテモ已ムヲ得ズ改
正ヲセネバナラヌト云フコトハ時勢ノ進運ト情勢ノ變化ヨリシテ與ヘラレタ
ル已ムヲ得ヌ結果デアリマス、此法律ハ相應ニ致究ヲ盡シ實地ニ徵シマシテ
現行法ヨリ府縣ニ於キマシテハ餘程行政ノ機關モ完備致シ、又知事ノ職權モ
明ニナリ又町村ニ於キマシテ其手續等モ便利ヲ得ルコトガアリマスルノデ
大ニ地方ノ行政上ニ於キマシテハ此改正ハ一日モ忽ニスベカラザル時期ニ到
達致シマシタ、諸君ドウゾ御協贊アランコトヲ希望致シマス

山勝立君演壇二登

○山脇玄君 諸君、私共少數者ハ絶對的ニ此改正案ニ不同意ヲ表スルト云フ
譯デハアリマセヌ、唯此會期切迫ノトキニ當クテ斯ノ如キ地方ノ土臺トナル
所ノ重大ナル法律案ヲ改正スルハ如何デアラウヤ、今一會期延シテ置イテ十
分ニ研究ヲ致シタイト云フ理由ヲ以チマシテ此會期ダケハ否決ヲ致スト云フ
斯ウ云フ卽チ否決論者デアルノデアリマス、デ府縣制郡制ト共ニ國家ノ基礎
トナル制度デアリマス、語ヲ換ヘテ申シマスレバ府縣都市町村ノ制度ハ中央
制度ノ基礎トナル地方制度デアリマス、故ニ地方制度ヲ堅固ナラシメズシテ
中央制度ノ堅固ヲ望ミマスルノハ恰モ木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルニ等シク到底其
目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、デ尙ホ之ヲ建築ニ喻ヘテ申シマスレバ地方
制度ハ土臺、礎デアツテ中央制度ハ其上ニ建テラレタル家屋ノ如キモノデアリ
マス、故ニ家屋ヲ堅固ナラシメルニバ土臺ノ動搖セヌヤウニ注意ヲ致サネバ
ナリマセヌ、サレバ我邦ニ於キマシテ曩ニ地方制度ヲ制定セラル、トキニハ
古來ノ慣例ヲ鑑ミ歐洲ノ學理ニ照ラサレテ慎重鄭寧ニ審議ヲ盡サレタト云フ
コトハ疑ヒノナイコトデアリマス、殊ニ地方制度ノ根本デアリマスル階級選
舉法、複選法、大地主制ノ如キニ至リマシテハ最モ慎重鄭寧ニ審議ヲ盡
サレタコ

トニアラウト存ジマス、然ルニ其實施未ダ昔カラズ、從フテ其經驗十分デアリマセヌ。今日ニ於テ早ク既ニ根本組織ノ改造ヲ企テ國家ノ基礎ヲ動搖セシメントスルガ如キハ早計ノ業ト言ハネバナリマセヌ、若シセ之ヲ早計ノ業ト云フコトガ出來マセヌナラバ何ヲカ早計ノ業ト言フコトガ出來マセウ、茲ニ御参考ノタメニ申上ダマスルガ、府縣制郡制ハ明治二十四年頃カラ實施シ始メタノデアリマス、明治二十四年ニ實施ニナリマシタモノハ二府四十二縣ニ、沖繩縣ヲ除キ、於キマシテ今日マデ僅ニ……イヤ間違ヒマシタ、二十四年ニ實施ニナリマシタノハ十一縣デ、二府二十一縣ニ於キマシテハ漸ク明治二十九年、三十年、三十一年ニ實施ニナッテ居リマス、デ郡制ノ未ダ實施ニナッテ居ラヌモノハ二府四縣デアリマス、府縣制ノ實施ニナッテ居ラヌ所ガ三府四縣アリマス、過去數年來此衆議院ノ府縣制、郡制改正案ヲ當院ニ於キマシテ贊成致シマセナヌダ理由ハ茲ニ改メテ私ガ喋々致シマセヌトモ既ニ諸君ニ於カレマシテハ能ク御了承ノコトニアラウト、テ郡制ノ未ダ實施ニナッテ居ノ理由ハ如何デアリマスルカ、即チ複選法ノ廢シテ單選法ト爲シ大地主制度ヲ廢スルト云フノガ重ナル理由デアリマス、從來政府ガ現行ノ府縣制、郡制ヲ維持セラル、所ノ理由ト此二ツハ特ニ速記録ニ掲ゲマシテ之ニ譯ルダ疑ヲ懷カザルヲ得ザル次第デアリマス、テ今此從來政府ガ現行府縣制郡制ヲ維持セラル、點ト今回改正ヲシヤウト云フ所ノ其點ノ差ハ是ヲ一ミ此所デ辯シマスルノハ事頗ル冗長ニナリマシテ會期切迫ノ今日格別必要ガナカラウト考ヘマスルニ依テ茲ニ持チマシタル今回ノ改正ノ理由ト是マデ政府ガ現行制度ヲ維持セラル、所ノ理由ト此二ツハ特ニ速記録ニ掲ゲマシテゴザリマスコトニ致シマスルニ依テ何卒速記録ニ附イテ御一覽アランコトヲ希望致シマス、茲ニ於キマシテ私ハ嘗テ字漏生王國史ヲ讀ミマシタルトキニ國王ガ傍聴ノタメニ裁判所ニ臨マレテ言ハレタルコトヲ思ヒ起シマシテゴザリマスアル、ソレハ外ノコトデハアリマセヌ、或日國王ガ此裁判所ニ於テ原被告ノ辯論ヲ傍聽致サレマシタ、所ガ先づ原告ノ辯護士ガ滔々ト辯ヲ揮シテ原告ヲ辯護致シマシタ、其言フコトヲ靜聽シ居ラレタル國王ハ思ハズ知ラズ「コヤツニ道理アリ」ト言ウテ大聲デ呼バレタサウデアリマス、續イテ又被告ノ辯護士ガ辯舌巧ニ被告ノ辯護ヲ致シマシタ所ガ國王ハ「コヤツニモ道理アリ」ト又大聲ニ呼バレタサウデアリマス、大イニ氣色ヲ害シテ裁判所ヲ退居セラレタト云フコトガ歴史ニ書イテアリマス、私ハ素ヨリ國王デハアリマセヌ、ケレドモ政府ガ彼ノ空漏生ノ辯護士ノヤウニ如何ニモ巧ニ地方制度ニ對シテ維持ヲ爲サレル説ト、ソレカラ改造サレル説トヲ辯護セラレル所ヲ聞キマシテ私モ甚ダ不快ノ感シヲ起シマシタ、ノミナラズ眞ニ何レガ是デアルカ何レガ非デアルカ、今遽ニ之ヲ判斷スルニ苦シム次第デアリマス、殊ニ此郡制ニ至リマシテハ近來新ニ一ノ問題ガ茲ニ加シテ參クタノデアリマス、諸君御承知ノ如ク此現行ノ郡制ヲ廢スルノ可否如何ト云フ問題デアリマス、今日郡ノ事業ハ如何ノ有様デアリマセウヤ、水利ノコトナリ、土木ノコトナリ、多ク町村組合デコトヲ辨シテ居リマス、然ルニ現行ノ法制上已ムヲ得マセズ郡會ヲ設ケ府縣參事會ヲ置カネバナリマセヌニ依クテ之ガタメニ人民ハ無益ノ費用ヲ負擔シ無用ノ手續ヲ掛ケテ居リマスルノハ宜シクナイ、イッソノコト郡制ヲ廢シ組合町村ノ自然發達ニ任セタトテ別ニ實際上差支ヲ見ヌト云フ論ガアリマシテ多

額納稅者議員ノ中ニモ往々斯ク申サル、御方モアルヤウニゴザイマス、然ルニ改正郡制ハ如何ト見マスルノニ政府委員モ委員會ニテ御辯明ニナリマスルニ際シテ果シテ困難ヲ感シマスル主意デアリマスルニ依クテ、從來組合町村ニ於テ處理シ來リマシタルコトハ成ルベク郡ノ方へ移スコトニナリマス、タノデアリマス、明治二十四年ニ實施ニナリマシタモノハ二府四十二縣ニ、沖繩縣ヲ除キ、於キマシテ今日マデ僅ニ……イヤ間違ヒマシタ、二十四年ニ實施ニナリマシタノハ十一縣デ、二府二十一縣ニ於キマシテハ漸ク明治二十九年、三十年、三十一年ニ實施ニナッテ居リマス、テ郡制ノ未ダ實施ニナッテ居ラヌモノハ二府四縣デアリマス、府縣制ノ實施ニナッテ居ラヌ所ガ三府四縣アリマス、過去數年來此衆議院ノ府縣制、郡制改正案ヲ當院ニ於キマシテ贊成致シマセナヌダ理由ハ茲ニ改メテ私ガ喋々致シマセヌトモ既ニ諸君ニ於カレマシテハ能ク御了承ノコトニアラウト、テ郡制ノ未ダ實施ニナッテ居ノ理由ハ如何デアリマスルカ、即チ複選法ノ廢シテ單選法ト爲シ大地主制度ヲ廢スルト云フノガ重ナル理由デアリマス、從來政府ガ現行ノ府縣制、郡制ヲ維持セラル、所ノ理由ト此二ツハ特ニ速記録ニ附イテ御一覽アランコトヲ希望致シマス、茲ニ於キマシテ私ハ嘗テ字漏生王國史ヲ讀ミマシタルトキニ國王ガ傍聴ノタメニ裁判所ニ臨マレテ言ハレタルコトヲ思ヒ起シマシテゴザリマスアル、ソレハ外ノコトデハアリマセヌ、或日國王ガ此裁判所ニ於テ原被告ノ辯論ヲ傍聽致サレマシタ、所ガ先づ原告ノ辯護士ガ滔々ト辯ヲ揮シテ原告ヲ辯護致シマシタ、其言フコトヲ靜聽シ居ラレタル國王ハ思ハズ知ラズ「コヤツニ道理アリ」ト言ウテ大聲デ呼バレタサウデアリマス、續イテ又被告ノ辯護士ガ辯舌巧ニ被告ノ辯護ヲ致シマシタ所ガ國王ハ「コヤツニモ道理アリ」ト又大聲ニ呼バレタサウデアリマス、大イニ氣色ヲ害シテ裁判所ヲ退居セラレタト云フコトガ歴史ニ書イテアリマス、私ハ素ヨリ國王デハアリマセヌ、ケレドモ政府ガ彼ノ空漏生ノ辯護士ノヤウニ如何ニモ巧ニ地方制度ニ對シテ維持ヲ爲サレル説ト、ソレカラ改造サレル説トヲ辯護セラレル所ヲ聞キマシテ私モ甚ダ不快ノ感シヲ起シマシタ、ノミナラズ眞ニ何レガ是デアルカ何レガ非デアルカ、今遽ニ之ヲ判斷スルニ苦シム次第デアリマス、殊ニ此郡制ニ至リマシテハ近來新ニ一ノ問題ガ茲ニ加シテ參クタノデアリマス、諸君御承知ノ如ク此現行ノ郡制ヲ廢スルノ可否如何ト云フ問題デアリマス、今日郡ノ事業ハ如何ノ有様デアリマセウヤ、水利ノコトナリ、土木ノコトナリ、多ク町村組合デコトヲ辨シテ居リマス、然ルニ現行ノ法制上已ムヲ得マセズ郡會ヲ設ケ府縣參事會ヲ置カネバナリマセヌニ依クテ之ガタメニ人民ハ無益ノ費用ヲ負擔シ無用ノ手續ヲ掛ケテ居リマスルノハ宜シクナイ、イッソノコト郡制ヲ廢シ組合町村ノ自然發達ニ任セタトテ別ニ實際上差支ヲ見ヌト云フ論ガアリマシテ多額納稅者議員ノ中ニモ往々斯ク申サル、御方モアルヤウニゴザイマス、然ルニ改正郡制ハ如何ト見マスルノニ政府委員モ委員會ニテ御辯明ニナリマスルニ際シテ果シテ困難ヲ感シマスル主意デアリマスルニ依クテ、從來組合町村ニ於テ處理シ來リマシタルコトハ成ルベク郡ノ方へ移スコトニナリマス、タトテ遅シト云フベキモノデハアルマイト信シマス、右ノ次第、譯柄デアリマスカラ國家ノ基礎トモ云フベキ地方制度ノ改造問題ハ今日ノ所先づ否決致シテ置キマシタナラバ政府モ實際ニ徵シテ能ク御熟考下サイマセウシ、我ニモハ縱令輿論ガ郡制廢止ヲ希望スルコトニナリマシテモ更ニ改正ヲ企テントシタトテ遅シト云フベキモノデハアルマイト信シマス、右ノ次第、譯柄デアリマスカラ國家ノ基礎トモ云フベキ地方制度ノ改造問題ハ今日ノ所先づ否決致シテ後一層深ク地方ノ情況ヲ著眼致シマシテ意見ヲ一定致スコトモ出來ヤウト思ヒマス、諸君ニ於カレマシテモ宣シク此邊ヲ御諒察下サイマシテ、我ニハ決シテ徒ラニ本改正案ヲ否決スルノ主意デナイト云フコトハ十分御分リニナラウト存ジマス、然ルニ諸君ノ中ニハ或ハ我ニハ議員デアル以上ハ議案ニ對シテ一定ノ意見ノナイ筈ハナイデヤーナイカ、何トカ可否ヲ述ベナラヌト申サル、御方ガアルカモ知レマセヌ、所ガ前ニ申シマシタル如ク政府ノ御意見スラ兩三年ノ中ニ變ズル位ノコトデアリマスレバ我ニハ會期切迫ノ今日デ假ニ我ニノ意見ヲ述ベヤウト云フコトデゴザイマスルナラバ已ムヲ得マセヌ我ニ少數者ハ先づ政府ガ從來執ラレタル所ノ現行制度ヲ維持スルト云フ方ノ政府ノ御意見ニ贊成ヲシタ方ガ却クテ安心デアラツテ危険ガナカラウト存ジマス、即チ此改正ノ單選法ニ對シテ簡單ニ申シマスレバ諸君御承知ノ地方團體ノ選舉ト衆議院議員ノ選舉トハ法律上聊カモ聯絡サセテハアリマセヌ、然ルニ政黨ガ議會ノ選舉ニ於キマシテ熱心ニ競争ヲ致シマスルト云フノハ如何ナル譯デアリマセウカ、是ハ申スマデモゴザイマセヌ府縣郡市町村内ニ黨勢ノ消長ニ大ナル關係ヲ持クテ居リマスルガタメデアリマスル、此事實ヨリシテ推シテ考ヘテ見マスルナラバ縱令複選制ヲ廢シマシテ郡會市會ト府縣會トノ間又ハ町村會ト郡會トノ間ニ於キマシテ全ク法律上ノ關係ヲ斷チマシタ所ガ、是等ノ議會ニ勝ヲ占ムルト云フノハ即チ實際黨勢ニ大ナル關係ガアルカラデゴザイマスルニ依クテ、到底黨派熱ト云フモノハ止ムモノデナカラウト認メテ居リマス、ノミナラズ單選法ノ結果ト致シマシテ選舉ノ度數ヲ増シ多數ノ選舉人が競爭ヲ致シマスルノ結果人民ガ互ニ相敵視スルノ狀態ヲ益成長セシムルノ恐ガアリマスル、此際ニ申シマスルガ唯今ノ縣會議員ノ選舉デアリマスレバ一郡内ノ町村會議員即チ例ヘバ郡内ノ町村十箇村ト見マシテ其一町村會議員ガ二十人ト見マシタコロガ僅カナ人間デアリマスル、然ルニ此改正案ニナリマスト一村内ノ選舉人が假ニ三百名ト見マス、三百名ト見マスト其郡内ノ町村ガ十箇村アリマスレバ三千人、殆ド三千人程ノ人ガ選舉ニ競争ヲスルヤウニナリマスカラ非常ナ差ヲ其處ニ生ジテ參ル譯ニナリマス又大地主制ノ廢止ニ對シテ極簡短ニ申シマスレバ……

「簡短タキ」ト呼フ者アリ 「ヤルベシヤルベシ遠慮スルコトハナイ」と呼フ者アリ

モウ長イコトハナイノテ直キ濟ミマス、現行大地主制ノ存スル所以ハ、我國ハ申スマデモアリマセズ、農ヲ重ズル國柄デアル、殊ニ郡内ニ於テ多クノ負擔ヲナシ名望ヲ有スル者ハ先づ大農デアリマスルニ依テ是ニ大ナル權利義務ヲ與ヘントシテ出マシテアラウト考ヘラレマス、然ルニ近來或府縣ニ於キマシテ大地主ノ資格ヲ急ニ作ルノ弊害ガアルト云フヨトハ事實ニアラウト思ヒマス、是ハ唯或地方ニ於ケル一時ノ現象デアラテ永續スペキモノデナカラウト考ヘマス、デ愈々是等ノ弊ニ堪ヘヌコトデアリマスルナレバ何モ制度全體ヲ廢シマセヌデモ是ダケヲ防グ方法ハ隨分別ニナイコトハナカラウト考ヘラレマス、唯是ダケヲ申シマステ、アトハ速記録ニ御就キ下サイマンテ雙方ノ説ガアリマスルカラドウゾ宜シク御熟讀ヲ……

(参照)

複選制廢止ニ關スル理由

現行ノ複選制ハ之ヲ從來ノ實驗ニ徵スルニ其ノ疑點少シトナサス依テ此ノ際直接選舉ノ法ヲ採用シ以テ複選制ニ於ケル一切ノ弊竇ヲ芟除シ以テ選舉ノ公平ヲ保チ制度ノ完美ヲ期スルハ之ヲ今日ノ機運ニ觀テ最モ措置ノ宜シキヲ得タルモノナルヲ認ム

抑々現行ノ制度ニ於テハ府縣郡會議員ノ選舉ハ地方議會之カ直接ノ機關タルカ故ニ選舉ニ關スル勝敗ハ一二市町村會議員ノ選舉ニ繫ルヲ以テ競争ノ熱度之ニ集注シ務メテ黨同伐異ノ外ニ立チ鄰保緝睦ノ美風ヲ存養スヘキ下級團體ヲシテ遂ニ軋轢ノ燒點タラシムルノ弊アリ加ルニ下級團體ノ議會ヲ以テ上級團體ニ於ケル議會ノ選舉ヲ行フノ機關トナスノ結果ハ其ノ意見往往ニシテ一方ニ偏倚シ汎ク各種ノ意思ヲ表彰セシムルコト能ハサルノミナラス直接ニ民意ヲ反映セシムル代議ノ本旨ヲ貫徹スル上ニ於テ不備ヲ感スルモノ亦妙シトナサス顧フニ複選ノ制ハ選舉ノ方法稍々簡易ニシテ且ツ競爭ノ弊地方全般ニ波及セサルノ利ナキニアラスト雖直接選舉ノ制ヲ採ルモ本改正案ニ於ケルカ如ク郡市町村ニ依テ之カ選舉區ヲ分劃スルニ於テハ競爭ノ弊害地方全般ニ涉ルノ虞ナカルヘク又選舉人名簿ノ調製ニ付テモ据置名簿ノ制ヲ採リ隨時調製ノ煩ヲ避クルニ於テハ大ニ選舉手續ヲ簡便ナラシムルノ利アリ矧シヤ又直接選舉ノ制ハ郡ニ於テハ事創始ニ屬スト雖府縣ニ於テハ府縣制實施ノ以前ニ於テ十數年既ニ府縣會議員選舉規則ニ依テ直接選舉ノ制ヲ行ヒ來レル因襲ノ存スルアリ之ヲ要スルニ歐洲諸國多數ノ立法例ニ倣ヒ複選制ヲ廢シ直選制ヲ採リ以テ選舉制度ノ完美ヲ期スルハ地方行政ノ整理ト振張トヲ企圖スルノ急ナル今日ノ時運ニ於テ其ノ最モ適當ノ舉ナルヲ信ス今複選制ヲ非トスルノ要旨ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 複選制ニ於テハ直選制ノ如ク一般選舉人ノ意思ヲ代表スル能ハス
二 複選制ニ於テハ直選制ノ如ク一般選舉人ノ意思直接ニ表彰セラレス唯間接ニ反映スルノミ

三 市町村會議員ノ多數ヲ占メサレハ郡會府縣會ニ多數ヲ占ムル能ハサルヲ以テ勢ヒ市町村會議員ノ選舉競争劇烈ニ至ル

四 選舉競争ノ弊ニ伴フテ黨派ノ軋轢ヲ市町村ノ行政ニ波及スルニ至ル

五

市町村會議員ノ任期間ハ數回府縣會郡會議員ノ選舉ヲ行フトモ毎ニ同主義ノ者選舉セラレ直選制ニ於ケルカ如ク選舉現時ニ於ケル一般選舉ヲ以テ各種ノ地方議事機關ノ主義ハ自カラ一方ニ偏倚シ從テ各種ノ意見ヲ適當ニ代表セシムルヲ得ス

七 府縣參事會及郡參事會ハ間接ニ町村會ノ選舉ニ係ルヲ以テ勢ヒ市町村行政ニ關スル監督ヲ厲行スル能ハサルノ虞アリ
八 郡會町村會等ニ於テ選舉スルノ結果郡會町村會等不成立若ハ召集ニ應セサルカ爲屢々選舉ヲ結了セサルコトアリ

大地主制廢止ニ關スル理由

大地主ノ制タル我地方制度ニ於テハ郡制ニ始テ之ヲ採用シタリト雖我邦古來ノ沿革ニ於テ大地主ニ特權ヲ付與シタルノ跡ナキノミナラス之ヲ從來ノ

情況ニ鑑ミルニ之ヲ存セサルヲ得サルノ必要アルヲ認メス況シヤ複選制ヲ廢シテ直選制ヲ採リ一定ノ直接國稅ヲ納ムル者ヲシテ選舉權被選舉權ヲ享有セシムルニ於テハ地主ノ利害ハ優ニ之ヲ議會ニ表彰シテ餘リアルヲ以テ更ニ地價一万圓以上ヲ有スル地主ニ限り特別ノ參政權ヲ與フルハ毫モ其ノ必要ナキノミナラス權利ノ分配上却テ不權衡ヲ招クノ嫌アルヲ免レス

且夫レ大地主ニ關スル現行法規ノ規定タル頗ル不備ニシテ土地ノ所有ニ關係シテ一定ノ年限ナク又其ノ所有ニ付テハ登記ヲ必要トセサルカ故ニ選舉ニシテ遽ニ大地主資格ヲ造成シ依テ以テ競爭ヲ試ムルノ弊害アルハ一般ノ認識スル所ナリ假リニ土地ノ所有ニ一定ノ年限ヲ附シテ之ヲ制限スルモ大地主ニ特權ヲ付與スルノ制ヲ存スルニ於テハ姑息ノ手段ヲ用井テ隱微ニ權利ヲ私スルカ如キ弊害ハ之ヲ防遏スルコト容易ナラサルヘシ

翻テ泰西諸國ニ於ケル現行地方制度ヲ查閱スルニ苟モ納租ヲ以テ選舉權ノ要素ト爲セルノ國ニ在テハ獨國ニ三ノ諸邦ニ於ケル郡制ヲ除クノ外他ニ大地主制ヲ存スルモノアルヲ見ス是等諸邦就中普國ニ於テ獨リ此ノ制ヲ採用セシハ抑々亦故ナキニ非サルナリ普國ニ於テハ封建制度ノ餘勢トシテ領主ノ特權猶未タ全ク其ノ跡ヲ歛メス領主ノ莊園ハ儼然一ノ團體ヲ形成シ領主ノ代理者ハ其ノ行政事務ヲ擔任ス之ヲ以テ一般町村ニ於テ郡會議員ヲ選出スル以上ハ其ノ町村以外ニ於テ宛然一箇ノ團體ヲ形成スル私領地ヨリモ亦等シク郡會議員ヲ選出セシメサルヲ得サルニ出ソ然ルニ普國ニ於テモ千八百七十二年ノ改革以來姑ク古來ノ沿革ニ基キ大地主ノ特權ヲ認ムト雖舊制ノ代理者ハ其ノ行政事務ヲ擔任ス之ヲ以テ一般町村ニ於テ郡會議員ヲ選出スルノ制ニ摹倣シ採テ以テ我郡制ニ大地主制ヲ存セントスルハ當ニ比スレハ頗ル其ノ參政ノ權利ヲ制限シ又之ト同時ニ多額ノ營業稅ヲ納ムル者ニ對シテモ亦特殊ノ權利ヲ付與スルニ至レリ(仍普國ニ於ケル大地主制)由來ハ別紙ニ詳ナリ

國史ノ沿革ナキ我國ニ於テ彼ノ普國ニ於テ既ニ舊套ニ屬シ將ニ其ノ迹ヲ絶タントスルノ制ニ摹倣シ採テ以テ我郡制ニ大地主制ヲ存セントスルハ當ニ立法ノ根據ナキノミナラス實際ニ於テモ亦別ニ此ノ制ヲ存スルノ必要ヲ認メス況シヤ獨リ之ヲ郡ニ存シ府縣ニ闕ケルカ如キ立法ノ主義亦一貫セサルノ嫌ナキニ非ルヲヤ

以上ノ理由ニ依リ本件大地主ノ制ハ之ヲ廢止スルヲ以テ最モ適當ノ處置ナ

リト認ム
郡制改正案ニ對スル意見ノ一

第一 現行ノ複選法ヲ廢シテ直接選舉ト爲スノ不可ナル事

市町村ノ如キ小區域ニ於テハ選舉人ト被選舉人ト常ニ密接スルカ故ニ公民ノ資格低ク選舉人ノ數多キモ適當ノ議員ヲ得ルニ難カラス故ニ市町村制ニ於テ直接選舉ノ法ヲ取リタルハ適當ナレトモ郡ノ如ク區域稍大ナルトキハ多數選舉人ハ平常知悉セサル人物ヲ選ハサル能ハサルヲ以テ人選ニ付キ定見ナク一場ノ演説等ノ爲ニ容易ニ左右セラル、ノ弊アリ之ニ反シテ複選法トナストキハ（現行法ノ如ク單ニ町村會議員、町村長等ヲ以テ選舉人トシ選舉ヲ行ハシムルコト、爲スモ又ハ現行法ヲ修正シテ或ル場合ニハ町村會議員、町村長等ヲ以テ選舉人トシ選舉ヲ行ハシメ或ル場合ニハ町村會議員、町村長等ヲ原選舉人トシテ選舉代人ヲ選ハシメ此代人ヲシテ選舉ヲ行ハシムルコト、爲スモ）選舉人又ハ原選舉人ハ即チ町村會議員、町村長等ナルヲ以テ稍郡内一般ノ事情ニ通シ何人カ郡會議員ニ適スルヤヲ識別スルノ能力アリ故ニ選舉ノ資格ヲ低クシ選舉權ヲ廣クスルトキハ勢複選法ヲ取ラサルヘカラス直接選舉ノ法ヲ取ルトキハ勢選舉ノ資格ヲ高クシ選舉權ヲ狹クセサルヘカラス現行郡制ハ此二様ノ方法中選舉ノ資格ヲ低クシ選舉權ヲ廣クスルノ法ヲ取レリ

衆議院ノ選舉ハ單選ノ法ヲ取リタレトモ其代ハリ選舉ノ資格ヲ高クセリ其府縣會ノ選舉スル所ニ任シ以テ複選法ト爲サ、リシ理由ハ「ニシテ足ラスト雖彼黨派ノ争ニ地方議事機關ニ及ホスノ弊害ヲ避ケタルコト亦一大理由ナリ府縣ニハ既ニ選舉人又ハ原選舉人トシテ利用スルヲ得ヘキ郡會市會アリ郡ニハ既ニ選舉人又ハ原選舉人トシテ利用スルヲ得ヘキ町村會アリ是亦衆議院ノ選舉ニ單選法ヲ設ケ府縣會郡會ノ選舉ニ複選法ヲ取リタル所以ナリ

府縣ニ付テハ郡市ヲ選舉區域トシ郡ニ付テハ町村ヲ選舉區域トスレハ複選ノ法ニ依ラサルモ同一ノ目的ヲ達スルヲ得ヘキカ如シト雖モ被選舉人ハ各選舉區域ヲ通シテ選舉スヘキモノナレハ矢張複選法ト同一ノ目的ヲ達スル能ハス

現行法ノ如ク複選法トナストキハ選舉ノ弊害行ハレ難シ世人往々選舉ノ弊害行ハレ易キヲ以テ複選法ノ缺點ニ歸スルモノアリ然レトモ是寧ロ事實ノ正反對ナリ多數ノ選舉人ニシテ人選ニ付一定ノ見識ナク他ノ爲ニ容易ニ左右セラル、トキハ賄賂強迫等ノ其間ニ行ハル、ニハ至ラ

ストモ選舉ノ結果ニハ毫モ利スル所ナシ加之町村會議員等ハ名譽ノ公職ナルヲ以テ若シ賄賂暴行等ノ爲動カサル、コトアラハ併セテ其名譽ノ職ヲ失フニ至ルヘシ故ニ町村會議員等カ郡會議員ノ選舉ニ付責任ノ重キヲ感スルコト多數選舉人ノ比ニ非サルヘシ若シ選舉ノ事ニ付町村會ヲ信任スルコト能ハストセハ一日モ町村ノ政務ヲ之ニ委スルヲ得サルノ理ナリ

複選法ニモ亦政黨ノ争ニ地方團體ニ及ホスノ害ナシ

二

世人往々政黨ノ争ニ地方團體ニ及ホスヲ以テ現行府縣制郡制ノ複選法ノ結果ナリトナスモノアリ然レトモ府縣郡市町村ノ事務ハ政黨ノ綱領ニ由テ左右スヘキモノニ非ス府縣會郡會市町村會ニハ政黨ノ別無キノ理ナリ故ニ町村會ヲ郡會ニ連結シ郡會市會ヲ府縣會ニ連結スルモ道理ノ如ク府縣會郡會市町村會ニ及ホスコトナキ旨ナリ然ルニ斯院議員ノ選舉ト府縣會郡會市町村會議員ノ選舉トハ道理上法律上何等ノ關係ナキニ拘ラス實際府縣會郡會市町村會ニ黨派ノ争アルハ何ソヤ府縣會郡會市町村會ニ選舉ニ勝ヲ占ムルト否トハ一府縣郡市町村内黨勢ノ消長ニ大ナル關係アルヲ以テナルヘシ此事實ヨリ推考スルトキハ假令郡會市會ト府縣會トノ間又町村會ト郡會トノ間全ク法律上ノ關係ヲ絶ツモ此等議會ニ勝ヲ占ムルト否トハ實際黨勢ノ消長ニ大ナル影響ヲ及ホスヘク隨ツテ現行府縣制郡制ノ複選法ノ廢止ニ由テ方今ノ弊害ヲ救ハントスルノ一空想ニ過キサルコトヲ知ルニ足レリ

方今選舉上ニ黨派ノ激烈ナル競争ヲ見ルハ全國一般ノ通況ニシテ市町村會議員ノ選舉ハ勿論水利組合會議員ノ選舉、徵兵參事員ノ選舉、區會議員ノ選舉ニ至ル迄幾ント黨派ノ競争ヲ現出セサルコトナシ此事實ハ決シテ府縣制郡制ノ複選法ヲ實施スル地方ト之ヲ實施セサル地方トノ間ニ差別アルコトナシ是亦黨派ノ競争ヲ地方團體ニ及ホスノ害ヲ以テ複選法ノ缺點ニ歸スヘカラサル一理由ナリ

直接ノ選舉ヲ屢々スルトキハ無用ノ混雜ヲ生シ屢々競争スルノ結果或ハ人民相敵視スルノ状態ヲ生スルノ恐アリ

反對論者ハ或ハ曰ク現行郡制ノ如ク複選法ヲ用ユルトキハ黨派ハ町村會ノ選舉ニ全力ヲ用ヒ從テ競争激甚ナルヲ致スノ虞アリト然レトモ前項論スル所ヲシテ信ナラシメハ假令法律上郡會ト町村會トノ關係ヲ絶ツモ之ニ由テ町村會議員ノ選舉ニ競争ノ弊害ヲ防クハ目下ノ状態ニテハ難カルヘシ果シテ然ラハ弊害ヲ屢々スルハ之ヲ一タヒスルノ優レルニ如カサルナリ加之町村會ニ選舉ハ全郡又ハ全府縣同時ニ之ヲ行フモノニ非サルカ故ニ其弊害ヲ防クコト割合ニ容易ナルヘシ

現行ノ複選法ハ市町村ノ等級選舉ヲ基礎トスルモノニシテ社會各種ノ階級ヲ適當ニ議會ニ反映セシムルモノナリ若シ複選法ヲ廢スルトキハ更ニ等級選舉ニ類似ノ制度ヲ設ケサルヘカラス

六 第二 現行大地主制ノ廢スヘカラサル事

一 第二 現行大地主制ノ廢スヘカラサル事

公ニ盡スノ精神ハ起ラスシテ唯ミ自己ノ利益ヲ防衛スルカ爲其潛勢力ヲ利用スルノ惡結果ヲ見ルヘキノミ蓋シ此ノ如キハ啻ニ自治ノ精神ニ反スルノミナラス彼表面責任ヲ負ハスシテ裏面ニ勢力ヲ用ユル所ノ最モ忌ムヘキ最モ嫌フヘキ黒幕ナル者ヲ生シ遂ニ自治制ノ效用ヲ全フスルコト能ハサルニ至ルヘン（英國ノ「ジエントリー」ハ自治ノ要素ナリ）

二 郡會議員ハ全郡ヲ通シテ選舉スルモノニシテ一町一村ヲ代表スルモノニ非スト雖モ實際ニ至テハ往々各町村ノ利益ノ衝突ヲ生シ地方小黨派ノ紛争ヲ起スコトナレトセス然ルニ大地主ナル者ハ其利害ノ及フ所一町一村ノ區域ニ由テ限ラレサルカ故ニ町村ノ利害ノ衝突ヲ調和スルカ爲ニ最モ適當ノ元素ナリ

三 大地主制ノ必要ハ自治制度ノ原則即チ「行政ノ利害ヲ直接ニ感スルモノヲシテ行政ニ參與セシメ且可成利害ノ厚薄ニ從テ參與ノ度ヲ定ムルノ主義」ヨリ發生シ來ルモノナリ自治ノ制度ハ既ニ租稅ノ負擔者ヲシテ其賦課ニ參與セシムルコトヲ必要トセハ多額ノ負擔者ヲシテ其賦課ニ參與セシムルコト亦隨テ多カラサルヘカラス租稅ヲ負擔セシムルニハ負擔者ノ意見ヲ問フノ後ニ於テスルカ如ク他ノ負擔者ヨリ多額ノ負擔ニ任セシムルニハ亦多額負擔者ノ意見ヲ問フノ後ニ於テセサルヘカラス若シ之ニ反シテ多額ノ負擔者少額ノ負擔者ト均等ニ參與スルヲ以テ足レリトセハ同一ノ理由ニ因リ租稅ノ賦課ハ必シモ負擔者ノ參與ヲ要セス官吏ニ於テ獨斷ニ定ムルモ可ナリトノ論結ヲ生スヘシ畢竟自治ノ制度ハ行政ノ利害ヲ直接ニ感スルモノヲシテ行政ニ參與セシムルヲ要シ又可成利害ノ厚薄ニ從テ參與ノ度ヲ定ムルヲ要スルモノニシテ大地主ノ制ハ則チ此一般ノ原則ヨリ生シタル一顯象ニ過キサルナ

四 世ノ選舉權被選舉權ヲ論スルモノ往々其一種ノ權利ナルコトヲ知テ而シテ其寧ロ一ノ義務ナルコトヲ顧ミサルモノ多キカ如シ選舉權被選舉權ヲ以テ專ラ權利ニ屬スルモノトスルカ故ニ他ヨリモ多キ選舉權被選舉權ヲ有スルモノアルトキハ暗ニ之ヲ嫉ムノ情ナキ能ハス是普通選舉論ノ如キモノヲ生スル一ノ理由ナリ租稅ノ負擔ノ如キハ何人モ可成輕カランコトヲ希望ス而シテ獨リ選舉權被選舉權ノ可成多カラコトヲ欲スルハ蓋シ選舉權被選舉權ノ重要ナル義務ナルコトヲ感セサルカ爲ナリ故ニ選舉權被選舉權ヲ配當スルニ當リテモ亦租稅ト同シク負擔力ノ如何ヲ問ハサルヘカラス何人カ最モ能ク被治者ノ眞ノ利害ヲ表示スルニ適當ナルヤ是選舉法ヲ定ムルニ當リテ講究スヘキ唯一ノ問題ナリ郡村ニ於テハ地主ノ利害ハ一切ノ施政ト最モ密接ノ關係ヲ有スルモノナリ而シテ大地主ナルモノハ地主ノ利益ヲ代表スルニ最モ適當ナルモノト認メサルヘカラス故ニ大地主若干名ヲ以テ大地主ノ利益ノ爲選舉權被選舉權ヲ占有スルモノト見做ハ誤ナリ大地主ハ寧ロ地主一般ノ利害ヲ代表スルモノナリト認メ可ナリ代議ノ性質ヲ以テ各個選舉人ノ意思ヲ代表スヘキモノナリト看做スノ誤タルハ既ニ學說ノ普ク認ムル所ナリ代議ノ目的ハ人民ノ實際ノ狀態

○三崎龜之助君 唯今ノ問題ニ附キマシテハ最早數年來ノ問題ニナツテ居リマスルデ其利害得失ハ殆ド講究シ盡シツラウト私ハ思ヒマスル、依クテ私ガリ郡村ニ此處へ上テ此改正案ヲ贊成スル理由ヲ縷々述べルハ甚ダ蛇足ニ屬スルヤノ感覺ヲ懷ヒテ居リマス、サリナガラ承ル所デハ今度ノ改正案ノ中ニ或ル二點ニ附イテ色々御議論ガアルヤニ聞ヘマス、私モ不肖ナガラ此問題ニ附イテハ曾テヨリ研究モ致シマシタデ此處デ其贊否ノ理由ヲ申上ゲマスルニハ先ツ政府ノ方デ一體此二問題ニ附イテドウ云フ感ヲ持テ居ツカト云フ歴史ヲ簡短ニ申シマスレバ最早此問題ニ附イテ一般ノ輿論ガドノ邊ニ傾イテ居ルカト云フコトが明ニナルダラウト存ジマスニ依クテソレヲ申上ゲテ此贊成ノ意ヲ表サウト存ジマス、御承知ノ通郡制ニ在クテ大地主ヲ廢シ複選法ヲ廢シ

府縣制ニ在フテ複選法ヲ廢シテ直選選舉ニスルト云フ、此問題ニ附イテハ數年前ヨリ世間デハ喧シウ言フテ居リマシタノデ然ルニ其局ニ當ツテ居ル所ノ内務省ノ方ハドウシテ居ツタカト云ヘバ是ニ對シテハ十分ノ調査ヲ遂ゲ或ハニスルニハ極力反對ヲシテ居ツタノデアリマス、又大地主ヲ廢スルニ附イテモ其初ハ極力反對シテ居リマシタガ其後ニ至リマシテハ漸ク大地主ヲ廢スルト云フコトハ如何ニモ尤デアル、最早今日テハ實際其用ヲ爲シテ居ラナイトモノハ極力複選法ニ反對シテ居ツタノデアリマス……複選法ヲ廢シテ直選法云フコトガ地方官ノ多數ノ意見ニアリマシタ、サリナガラ複選法タケハセメニシテ維持フシテ置キタイモノデアルト云フコトハ極力ヤクテ居ル地方官ガ多數ヲ占メテ居ツタ、是ガタメニ二十九年ニ至ツテハ此問題ノ一タビ衆議院ニ現レントシタトキ或ハ大臣其地位ヲ堵シテマデ複選法ヲ廢スルニ附イテハ反對ヲセラレタノデアル、此處ニ出席セラレテ居ル大臣方ノ中ニモ隨分御反對ノ説ヲ唱ヘラレタ御方モアルノデアル、然ルニ三十二年ノ今日ニ於キマシテハ極力反對セラレテ居ル地方官ノ中ニモ最早複選法ヲ廢シテモ宜カラウト云フ説ニ傾キツハアリ、又段々地方ノ實況等カラ經驗等ニ徵シテ遂ニハ政府自ラ此大改革ノ案ヲ出サル、ニ至ツタノデアリマスカラ其大勢ハ必ズトシ得ルコトハ思フノデアリマス、必ズ之ヲ一片ノ理論ニ徵シテ改正案ヲ出シタノデハナク必ズ數年間ノ地方ノ行政ニ經驗アリ又其經驗アルノ眼力ヲ以テ今日ノ實際ヲ洞観シテ今日必要已ムヲ得ザルヨリシテ遂ニ此改正案ヲ出シタノデアリマスカラ私ハ理論バカリデハナシ、經驗上事實上ニ於テモ直接選舉ニシテ複選法ノ非ナルコト、云フノハ明ニ此大勢ヨリ見テモ明デアラウト思ヒマス、ノミナラズ、先程山脇君ヨリモ色々ノノ地方制度ノ改革ノ容易ニスベカラザルラナケレバナリマスマイト思ヒマス、其上ニ今ノ複選法ト云フモノハ或ル點コトヲ論ゼラレマシタガ私モ御同感デアリマスルガ實ハ此府縣制ニシマシテモ郡制ニシマシテモ實際ニ於テマス、今ノ一問題ノ外ニ餘程改正ヲ要シナケレバ實際ノ機關ノ動カナイ所ガ大分アルノデゴザイマス、是ハドウシテモヤラナケレバナリマスマイト思ヒマス、

ニ於ハ餘程簡便デハゴザイマスルガ或ル點ニ於テハ餘程弊害ガアルノデ、ト云フノハ簡便ト云フコトニ附テハ始終地方官モ熱心ニ維持シテ居ツタノハ此點カラ維持ヲシテ居ツタノデ、直接選舉ニスレバ非常ニ煩雜、選舉又選舉ト云フコトニナクテ地方ハ黨争ノタメニ紛亂ヲ起スト云フ憂カアリマシタガ故ニ地方官中ニ極力反對ヲシテ居リマシタガ此點ヲ除キマスルガタメニ色々心ヲシテ諸君ガ御承知ノ通此案ノ中ニハ名簿ヲ成ルタケ永ク据置キ又府縣會議員ノ補闕選舉ガアルトキニハ補助スルト云フヤウナ種々様ニノ簡便法ヲコニ制定シテ今ノ複選法ヲ廢シテ直接選舉ニスレバ選舉ガ度ニ重ナリ或ハ選舉名簿ヲ調製スルノ弊ガアルト云フコトガ出來ルダケ矯メルヤウナル選舉法ヲ取ルト云フコトニ至ツタノデ茲ニ至ルマデハ隨分攷究ニナリマシテ重ナ茲ニ至ツタノデゴザイマスルガ私ハ一日モ早ク之ヲ通過サレテ實地ニ行レテ年來アルコトヲ十分除イテ地方機關ガ圓満ニ運轉セラレシコトヲ希望スルノデゴザイマス、唯茲ニ遺憾トスル所ハ斯ノ如キ二大法案ヲ出サレル位ナラバモウ

卷之三

○子爵谷干城君
モ申サヌ積デアリマシタケレドモ一言反対ノ所以ヲ述ベザルヲ得ヌト思フ
ト云フモノハ極簡短ニ言ヒマスルガ今三崎君ヨリ少數意見者ノ論ヲ駁撃サレ
テ其中ニ地方官ニ於テモ從來大地主制ヲ廢シ或ハ此複選法ヲ廢スルト云フコ
トハ反対デアル、ソレニモ拘ラズ今日ハ同意シテ居リ又現時ノ大臣ニ於テモ
反対ヲセラレタ方ニガアル、ソレニモ拘ラズ今日ハ政府自ラ之ヲ提出サレタ
ト云フモノハ即チ殆ド先ヅ輿論デアルト云フヤウノ御辯明ト本員杯ハ解シ
タ、然ルニ本員ハ全ク其反対ノ考ヲスルノデアル、現時ノ政府ハドウ云フコ
トヲ爲サルカト云フニ我ニハ甚ダ訝シク思フ、ナゼ訝シク思フカト云フト詰
リ此今ノ政府黨ナル者ノ言フコトナレバ嫌ヤデモ何デモ御承知ナサル、ト私
共ハ認メル、ソコデマス、地方官ト雖モ其通デアル、ソコデ地方官モ今マデ
ハ嫌ヤタニデ來ヨツタ、其弊害ハ知テ居ルケレドモ政府ガ爲サルコトハ仕
方ガナイ、斯ウ云フ先ヅ短簡ニ申セバ事實ト私共ハ認メル、是マデ此議場ヘ
出テ來タ議案テモ御覽ナサレバ分ツテ居ル、政府モ喜ンテ御賛成ヲナサレタ
ノデナクトモ衆議院カラ出テ來タノデアルト思切シテ反対ヲスルコトガ出來
ナイカラ反対ヤラ贊成ヤラ譯ノ分ラヌコトデ是マデ御辯明ニナツテ居ル、此
コトモ實際中ニ此複選法又大地主法ト云フモノハ能ク研究スレバ山脇君ノ言
ハレタ通分ルモノデ此方ニ遙ニ益アルカモ知レヌ、ソレテ斯ウ云フ時期切迫
ノ際ニ是程ノ大問題ヲ一時ニ議シテシマフト云フノハ誠ニ早計タ、ソレテ之
ヲ少數意見者ガ此度ハ否決シテ置イテ篤ト日長ニ吟味シテソレカラ改正メベ
キナレバ改正ヲスル、又市町村制杯ニ於テハ即チ此三崎君モ言ハレタル通最
モ改正ヲ必要ト認メテ居ルノデサヘソレヲ除ケテ居ルト云フ譯アル、スレ
バソレ等モ併テ篇ト研究ヲスルガ至當ノコトデアル、ソレテ實際此現大臣方
ノ御身上ヲ分析シタナラバドウデアルカ、マダ私ハ十分ニ御研究ガ足ツテ居
ナイト思フ、ソレデ願ハクバ此少數意見者ノ如ク暫ク是ハ否決シテ置イテ其
後ニ御評議ニナランコトヲ希望シマス

○議長(公爵近衛鶴齋君) マダ一人足リマセヌ

○水野遵君 議長ニ伺ヒマスルガ先達デ私ハ關席致シマシテ承知シマセヌ
此討論終局ニ附イテ規則ガ出来マシタサウデゴサイマス、此際ニ討論終局ノ
動議ヲ出シテモ規則違反ニハナリマセヌカ一ツ伺ヒマス

○議長(公爵近衛鶴齋君) マダ一人足リマセヌ

○水野遵君 私ハ演壇ニ上リマセヌノデゴザイマスガ量早諸君ノ御討論モ盡
キマシタト存シマスル故ニ満場諸君ガ御認ニナリマシタラ如何デゴザイマセ
ウは討論終局ノ動議ヲ出シマシテハ……

○議長（公爵近衛篤齊君） ソレハイケマセヌ、規則が出來タ以上ハイケマセ
トハ出來ナイノデアリマスヤウニ思ヒマスガ……
○議長（公爵近衛篤齊君） 通告ガアリマス

〔水野遵君演壇ニ登ル〕

○水野遵君 諸君極メテ簡單ニ賛成ノ理由ヲ述べマス、本員ハ唯今申上ゲタ
通最早辯論スル事柄ハ盡キテ居リマスル故ニ空シク蛇足ヲ添ヘテ諸君ノ静聽
ヲ煩ハスコトハ甚ダ恐入リマスガ唯今谷子爵ノ御辯論ハ總テ推測上ノ方ヨリ
出テ居リマスルコトデアリマスル故ニ之ヲ私ハ駁スルトカ或ハソレニ附イテ
辯解ヲスル杯ト云フコトハ必要ガゴザイマセヌア申シマセヌ其前ニ山脇君
ノ御論ノ中ニ二三辯駁ヲ要スル點ガゴザイマスルデ私ハ悲ムベキコトゴザ
イマスルガ山脇君ニ反対ヲ致シマスガ山脇君トハ此地方制度創設以來同僚デ
ゴザイマンシテ互ニ研究セ致シタコトモアル、且ツ鄰席デゴザイマスル、ソレニ
反対スルノハ甚ダ心苦シウゴザイマスルガ已ムヲ得ズ反対ヲ致シマス、且ツ
山脇君ガ獨逸ノ法デナイト同様ニ私ハ何モ辯護士程ノ辯者デゴザイマセヌ故
ニ唯一要點ヲ二點ヲ擧ゲテ山脇君ノ誤解ヲ正サウト存ジマス、皆サン御承知ノ
通縣制府縣制改正ノ骨子ハ大地主ト及複選法ヲ廢スルト云フコトデアリマ
ス、ソレデ大地主ト云フモノモ政府が最初法律ヲ編制ノ時分ニ所謂則ヲ獨逸
制度ニ採ツテ獨逸ノ大地主制度ヲ我邦ニ移シテ地方ノ基礎ヲ鞏固ニ致スト云
フニ過ギナンダヤウニ記憶致シテ居リマスルガ不幸ニシテ我邦大地主ト云フ
モノハ少シク獨逸ノ大地主トハ性質が違フテ居ルノミナラズ、近來段々詐偽
ノ手段ヲ以テ一夜作リノ大地主ト云フモノガ出來ルヤウニナリマシタ、既ニ
郡村ノ骨子タル大地主制度ト云フモノハ精神ハモウ十中八九ハ失セテシマッ
タト申シテ宣シテ思ヒマス、又複選法ハ選舉又選舉デ地方ノ紛糾ヲ釀スコ
トヲ恐レテ幸ニ獨逸ニ此法ガアリマス故ニ是非之ヲ模範トシテ最初ニ此案ヲ
制定サレタモノト云フコトハ記憶致シテ居リマスルガ是モ矢張勝利ガ得ラル、ニ依ツテ總テノ
シマシテ山脇君ノ云ハル、地方ノ基礎所謂家屋ヲ建テル土臺石タル町村議員
選舉ニ附イテ競争ノ弊ガ甚シクナツタ、何トナレバ一タビ町村議員ノ選舉ニ勝
利ヲ得テ置ケバ縣會議員府縣會議員ニモ矢張勝利ガ得ラル、ニ依ツテ總テノ
地方ノ競争ノ弊ト云フモノハ町村會議員ノ選舉ニ集テシマフ、ソレ故ニ二
十四年以來衆議院ニハ地方制度ノ改正ノ法案ガ毎年々々出テ來ル、又當院
デ毎年々々否決ニナリマシテ其間殆ド十年バカリ間ノ時間ヲ費シ切磋琢磨
ノ上ニ此案ガ出テ今日ノ所デハ政府モ全ク複選法ト大地主制度ト申スモノ、
無效ナルコト否有害ナルコトヲ認メテ此案ガ出マシタ、殆ドは地方ノ官民
ノ輿望ニ副フタ案ト本員ハ認メマス、ソレ故ニ私モ委員ノ一人デアリマシテ
原案ヲ賛成致シタノデアリマス、是ハ願クバ本案ハ十年ノ星霜ヲ經テ百尺竿
頭一步ヲ進メテ地方制度完成ノ域ニ進ミツ、アルコトデアリマス故ニドウカ
是ハ御賛成アランコトヲ希望致シマス
○男爵末松謙澄君 チヨット議長ニ一言シマスガ自分ハ此地方制度ニ於キマ
シテハ最初ノ制定以來又實行ノ上ニ附キマシテモ隨分關係致シテ居リマスガ
ソレ等ノコトカラ致シテ原案ニ賛成致ス理由ガアリマス、最初カラ之ニ附キ

マシテ今ノ制度ハ宜シクナカラウト云フ論ヲ執フテ居クタコトハ内閣諸公
中ニ知シテ居ル御方モゴザイマス、其他ノコトニ附キマシテ賛成ノコトヲ提
出致シマス積デアリマシタガ段々討論終局ノ要求モアリマスヤウナ場合ニモ
ナリマシタカラ其コトハ棄權ヲ致シマス

○小原重哉君 討論終局ノ動議ヲ提出致レマス

○議長（公爵近衛篤齊君） 是ハ如何デゴザイマセウ自然ニ討論終結ト思ヒマ
スカラ……ソレデハ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤト云フコトニ附キマシテ
記名投票ヲ要求ガ出テ居リマス、採決ハ記名投票ニ依リマス、是ヨリ採決ニ
掛リマス……本案ヲ第一讀會ニ移スベシトスル諸君ハ白イ札ニ名ヲ書イ
テ……ソレカラ反対即チ二讀會ニ移スベカラズト云フ御方ハ青イ札ニ名ヲ書
イテ……是ヨリ氏名點呼ヲ致シマス

〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長（公爵近衛篤齊君） 開函ヲ致シマス

○議長（公爵近衛篤齊君） 投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數二百一
白票百三十一、青票七十、即チ第二讀會ニ移ルベシト決シマス
○男爵西五辻文仲君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレシコトヲ望
ミマス

〔賛成ト述フル者多シ〕

○議長（公爵近衛篤齊君） 直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異議ハゴザイ
マセヌカ

〔異議ナシト述フル者多シ〕

○議長（公爵近衛篤齊君） 然ラバ直ニ第二讀會ヲ開クベシト決シマス
時刻ニナリマシタカラ休憩ヲ致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時十七分開議

○議長（公爵近衛篤齊君） 報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案特別委員會ニ於テ委員長ニ子爵長觸

護美君副委員長ニ子爵平松時厚君當選セラレタリ

○議長（公爵近衛篤齊君） 今朝御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道ニ及

ビマス

〔太田書記官長朗讀〕

遺失物法案特別委員
子爵入江爲守君 子爵丹羽長保君 柴原和君

水野遵君 保君 男爵平野長祥君 山中孝義君

ノ輿望ニ副フタ案ト本員ハ認メマス、ソレ故ニ私モ委員ノ一人デアリマシテ

原案ヲ賛成致シタノデアリマス、是ハ願クバ本案ハ十年ノ星霜ヲ經テ百尺竿

頭一步ヲ進メテ地方制度完成ノ域ニ進ミツ、アルコトデアリマス故ニドウカ

是ハ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○男爵末松謙澄君 チヨット議長ニ一言シマスガ自分ハ此地方制度ニ於キマ

シテハ最初ノ制定以來又實行ノ上ニ附キマシテモ隨分關係致シテ居リマスガ

ソレ等ノコトカラ致シテ原案ニ賛成致ス理由ガアリマス、最初カラ之ニ附キ

〔小原書記官朗讀〕

府縣制改正法律案第二條中修正案

第一項中「法人トス」ノ四字ヲ除ク

(男爵船越衛君演壇ニ登ル)

○男爵船越衛君 本員ハ此第二條ニ於キマシテ修正ヲ提出致シタデゴザイマス、ソレハ即チ唯今朝讀ニナリマシタ府縣ハ法人トシ「法人トシ」ノ四字ヲ削ルノデゴザイマス、此趣旨ハ第一此府縣ハ專ラ行政ノコトガ多イ、自治ノ

コトハ少イ、ソレ故法人ト云フコトハ却テ入用デナイト考ヘル、ソレデ政

府デハ之ヲ加ヘタ趣旨ハドウ云フコトデアルカト委員會ニ於テモ段々質問ヲ致シマシテゴザイマスガ、之ヲ入レタ趣旨ハ府縣モ郡モ市町村ト同様ニ財產ヲ持テ居ル、即チ市町村ト同様デアルカラ矢張法人ト云フノデアルトスウ云

フコトデゴザイマスガ、市町村ハ即チマー現今ノ法デゴザイマスルト市町村

ハ法律上一個人ト等シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡ソ町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケ自ラ之ヲ處理スルモノトストスウアル、即チ一個人ト等シク權利

義務ヲ有シテ居ル、殊ニ御承知ノ通ニ市町村長ハ公選デアルノデアルデ今日

ノ唯今讀ミ上ゲマシタ法律案ハ至當ナコトデアルト思ヒマス、モウ一ツハ然

ラバ矢張法人トスルカ市町村ハ法人トシタ方ガ宜シイツコトデアルト云フ

斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、然ルトキハ遂ニ此郡長府縣ノ長官ハ公選ト云フ

コトニ或ハナリハシナイカ、無論法人ト云フテモ必シモ其長官ハ公選デナ

コトモアルケレドモ併シ全然法人即チ自治トカ云F以上ハ第一其長タル者ハ

公選ニナルノガ至當デアラウト思フ、然ルニ無論府縣ノ長官郡長等ハ公選ニ

ハシナイ、前途スル見込ハ無論ナイト云F、コトデアル、最モ無論サウダラウト

思フ、本員ニ於テモ府縣長官郡長ノ公選ハ無論然ルベカラズト思テ居ル、然ル

ノニ矢張町村同様ニ法律文ニナシテ居ルト甚ダ紛ハシニ疑義ヲ懷ク、殊ニ府

縣ノ事務、郡ノ事務ハ行政事務ガ多イノデアル、自治事務ハ少イノデアル、

デ旁、以テ此「法人トシ」ト云F四字ハ削除致シタインデアル、ソレデドウ

ゾ諸君ニモ此意ヲ領セラレテ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○伊澤修二君 チヨシト本員ハ質問シタイノデスガ、若シ府縣カ法人デナイ

時分ハ府縣債ヲ募ルト云F場合ニハドウナル御考デアリマスルカ

○男爵船越衛君 ソレハドウナリマセウカ、ソレマテハ私ハ考ヘテ居ラヌガ

或ハ今募テ居ル所ガ多イノデ、縣債モ郡債モ募テ居ル、政府委員ニ御聞

ナサシテ御覽ジマセワレデ聞ナイト思フ

○伊澤修二君 唯今ノ船越男爵ノ御辯明ニ依リマスルト、此法人トシテ此長

タル所ノ人ヲ公選ニセニヤナラヌト云Fヤウナ御辯明ノヤウニ承リマシタ

ガ、此日本銀行拝ノ總裁ト云Fヤウナモノハアレハ公選デアリマスルカ、如

何デゴザイマスカ、ソレヲ承リタイ

○男爵船越衛君 無論日本銀行ハ法人ニナシテ居ル、アレモ論ノアタコト

デアル、前ノ川田總裁ノトキハ法人ト見ナカツタ、ソレモ私ハ聞イテ居ル、ト云Fモノハ日本銀行ノ總裁ハ勅任デアル、決シテ法人デナイト云F論モ

アツタ、デ日本銀行ノコトハ別ニ致シマシテ是ハドコマデモ法人ト云Fコト

ハ刪リタイ、ソレデ府縣債拝ノコトハ是ハ御聞ニナレバ分リマセウガ、殊ニ財產上デ聞ヘレバ別ニ法律ガ出テ宜イ、今地方ノ長官拝モ隨分財產上ニ於テハ別ニナシテ居テ是ハ確カ訴訟法ニ別記ノコトガアル、若シ差支ヘレバ

別ニ法ヲ設ケテ是ヘハ入レタクナイ、町村ト同ジヤウナ自治團體即チ此通ニナルガ至當デアルカラ之ヲ私ハ甚ダ避ケルノデアリマス、元ト内務省ノ起案ノ趣旨ヲ聞イテモ決シテサウデナイ、趣旨テサウデナクテモ法律面ガサウアルト自然ソコニナルカラ趣旨ノサウデナイト云F方ニシタラ宣カラウト云Fスウ云F主意ナノデゴザイマス、御承知ヲ……

(政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(一木喜徳郎君) 船越男爵ノ修正案ニ附キマシテ政府原案ノ趣旨

ノアル所ヲ一應申述ベテ置キタウゴザイマス、政府ニ於キマシテ府縣ハ法人

トスト云Fコトヲ規定シマシタノハ新ニ府縣ヲ法人トスルト云F考デハナ

ノデアリマス、是マデ、モ既ニ府縣制ニ於キマシテハ府縣ハ法人ト認メナケ

レバナルマイト解シテ居リマスルノデゴザイマス、其沿革ヲチヨシト申上げ

マスレバ府縣會規則ノ時分ニハ地方稅經濟ト云Fヤウナ漠然タル名稱ヲ用ヒ

テ居リマシタケレドモ其後府縣制ヲ施行セラルニ至リマシテ府縣ハ財產ヲ

持シト云Fコトモ明ニナシテ參リマシタ、又府縣會規則ノトキハ府債ヲ起ス

コトガ出來ル否ヤト云Fコトガ不明瞭デアリマシタガ府縣制ニ於キマシテハ

廣ク府債ヲ起スコトガ出來ルヤウニ致シマシタノデアリマス、總テ是等ノ點

カラ申シマスレバ府縣ハドウシテモ法人ト認メナケレバナヌノデゴザイマ

シテ單純ナ行政區畫ト認メラレヌ、現ニ府縣制ニ於テ區域ヲ變更スル場合ニ

ハ法律ニ定メテゴザイマスル單純ナ行政區畫デゴザイマスレバ斯ノ如キコト

ヲ法律ニ定ムルノ必要ハナインデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラシテ現

行ノ府縣制ニ於テハ既ニ府縣ハ法人デアリマス、先刻船越男爵ハ然ラバ府縣

及郡長ト云Fモノハ主トシテ國ノ行政ヲ司ル所ノ者デアル、即チ國ノ官吏デ

ト法人ト同ジイナルモノニナリヤセヌカト云F御懸念ガアリマシタガ、此點

ハ違フ所ガアリマス、成程府縣モ郡モ市町村モ法人デアルト云F點ニ於テハ

同ジデアリマスケレドモ併シ府縣郡ニ於キマシテハ其機關タル所ノ府縣知事

治ノ事務ヲ司ルモノデモナケレバ郡長ノ地位ニ影響ヲ及ボスモノデモナインデ

アリマス、單ニ自治ノ側ノ事柄ヲ規定致シタマデ、ゴザイマシテ、是マデノ

此點ガ即チ主客ニ異ニシテ居リマスノデ其區別ハ今度ノ改正案ニ於テモ明ニ

立シテ居リマスノデアリマス、即チ府縣制郡制ノ改正ガ府縣知事ノ地位ニ影

響ヲ及ボスモノデモナケレバ郡長ノ地位ニ影響ヲ及ボスモノデモナインデ

マス、即チ例ヲ舉ゲテ申シマスレバ砂防法、河川法又ハ……其他諸種ノ法律

ニサウ云F例ガアリマスルノデ決シテ今日新ニ法人トスルト云F主意デハゴ

ザイマセヌ、唯是マデノ法ノ備テ居ラヌ所ヲ補ウテ其主意ヲ明ニシタマデ

デゴザイマスカラトウゾ左様御諒承下サルヤウニ……

○男爵船越衛君 唯今政府委員カラ御辯明ガゴザイマシタ中ニ現行モ矢張法

人デアル町村ト達フコトハ違フガ法人ダト云Fヤウナコトガゴザイマシタガ人デアルヌガ、抑現今ノ町村郡制府縣制ヲ施行サレルトキニ本員ハ地方長

官テ居クタ、ソレニ附イテハ郡長或ハ府縣知事杯ハ……即チ府縣郡ヲ法人トスルノダガ、此古來ノ慣習ヲ變ヘルニ附イテハ餘程ソコラ聽イテ置カヌナラヌ、段々聽イタ所ガ決シテサウデナイ、自治團體ハ市町村ニ止メル、即チ法人トスルノハ市ト町村ニ止メルノデアル、アトハ行政區劃アルノデ決シテ其懸念ハナイ、無論郡長ヲ公選ニスルノ地方長官ヲ公選ニスルノト云フコトハアリハシナイ、斯ウ云フコトニア、其趣旨ハ詰リ變リハシマイト思フノダ、然ルノヲ唯法理バカリ色穿鑿シテ茲ヲ斯ウシナイト斯ウナル、ドウナル、遂ニ大體ノ本旨ヲ失ウテ小サイ法理論ヲスルモノダカラ、遂ニ此方カラシテ知ラズ識ラズ矢張公選ニセニヤーナラスヤウナコトガ生ジテ來ルノダ、デソレカラ歐羅巴各國皆府縣モ自治デアルカト云フニナイ國ガ幾ラモアルノデ、餘リ物ヲ懸念シ過ギテ法理タクト云フト大事ノコトヲ失フテ……決シテ之ヲ除イテ差支ナイデ、別ニ問ヘガアレバ……今ノ國務大臣モ隨分再三言テル、是ハ訴訟法ニモ書イテアルガ別ニ法ヲ立テ、差支ナイ、斷ジテ是ハ御除キナサルガ至當ト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 他ニ御發議ガナクバ採決ヲ致シマス、船越男爵其他ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、船越男爵ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤脣君) 少數ト認メマス、原案ノ通デ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第三條、第四條

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクハ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第五條

(特別委員修正案)

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

○議長(公爵近衛篤脣君) 委員ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ其通ニ決シマス、第六條、第七條、第八條

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 第九條、第十條

(特別委員修正案)

第九條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ノ選舉人名簿一本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉

區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ
第十條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

○議長(公爵近衛篤脣君) 委員ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、第十五条、第十六條、第十七條マテヲ問題ニ供シマス

(特別委員修正案)

第十二條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ郡市長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十五日マテ之ヲ据置クヘシ

府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所地ノ町村長ニ通知シ町村長ハ之ヲ告示スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿無効トナリタルトキハ九月十五日ノ現在ニ依リ更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

前項名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

第十八條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ投票所ニ於テ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選舉人ハ投票所ニ於テ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

選舉人ニシテ自ラ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立タルトキハ市町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印投票セシメ其ノ由ヲ

投票錄ニ記載スヘシ

○男爵小澤武雄君 本員ハ此十八條ニ附イテ少シ修正ガアリマスカラ……

(男爵小澤武雄君演壇ニ登ル)

○男爵小澤武雄君 本員ハ十八條ノ六項ヲ修正ヲシタイト思ヒマス、即チ「選舉人ニシテ自ラ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立タルトキハ」云々ト云フ

一項ヲ政府ノ原案ノ「自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フコトニ修正ヲ致シタイト考へマス、其理由ハ此條ハ

單記無記名投票ニナツテ誠ニ結構ナコト、存ジテ居リマス、然ルニ此十八條ノ六項ガ原案ノ通リテハ實際單記無記名ノ效能ヲ全ウスルコトが出來マイト

考ヘル、其次第ハ此地方杯ヘ至ルト勿論氏名ヲ書スルコトガ出來ナイモノモナキニシモアラズデハアリマセウケレドモ、又此選舉ニ際シテハ多ク運動ト

云フカ色ミナ強制的コトガ行レル、ソレ等ニ對シテハ無記名投票デアラ

ダトキニハ其投票ノ前ニ當タテドレ程ノ運動ヲシテ約束ヲシテ置イタ所ガ其人ガ約束通シテクレタカ、シテクレヌカ、一向認メルコトガ出來ナイニ依テ必ズ其氏名ヲ書センコトヲ強ユルノデ、本人ガ此投票ノ場所ニ於テ氏名ヲ書

スルコトが出來ナイカラト申セバ、此原案ノ通リニナルトソレニ依テ書イテヤラナクテハナラヌ、ソコデ始テ其人ガ某ヲ投票シタト云フコトガ判然分ル

譯デアリマスカラ多クサウ云フヤウナ風ニナツテ行カウト云フ弊害ガアルト却クテソレガタメニ今申述ベマシタヤウニ弊害ガアツテ

云フコトニ承ッテ居ルノデゴザイマスカラ、此無記名投票ノ效能ヲ全ウスル爲ニハ最初ノ政府ノ案ノ通ニ之ヲ修正シタイト存ジルノデス、勿論成ルタケ投票權ヲ失ハセナイヤウニシタインハ本員等ノ欲スル所デアリマスケレドモ

却クテソレガタメニ今申述ベマシタヤウニ弊害ガアルト效能ヲ全ウセヌハ甚ダ遺憾デアルカラ斯ノ如ク修正案ヲ提出シマス、是ハ定規ノ贊成ガ求メテアリマセヌカラ宣シク諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵渡邊清君 賛成

○松岡康毅君 賛成

○男爵西五辻文伸君 賛成

○三浦安君 賛成

○早川周造君 賛成

○子爵谷干城君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○辻新次君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○男爵南岩倉具威君 賛成

○公爵二條基弘君 賛成

○水野遵君 賛成

○小幡篤次郎君 賛成

○平山成信君 賛成

○三崎龜之助君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者數名アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 修正動議ハ成立チマシタ、ソレデハ小澤君ニ確メマスガ外ノ項ハ委員會ノ修正ノ通りデ異議ハナインデアリマスカ

○男爵小澤武雄君 異議ナシ

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレデハ此採決ハ小澤君ノ修正ニ付テ先ツ決ヲ採リマス、小澤君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、小澤君ノ修正ニ決シマス、次ハ十九條ヨリ二十六條マテ

○議長(公爵近衛篤齊君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、二十七條

○議長(公爵近衛篤齊君) (特別委員修正案)

○議長(公爵近衛篤齊君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、次ハ百十五條、次ニハ松岡君ノ修正ガ出テ居リマス、松岡君

(松岡康毅君演壇ニ登ル)

○松岡康毅君 諸君、本員ハ府縣制第百十五條ノ第二項、新ニ一項ヲ插入致シタイ考デゴザイマス、ソレハ斯様ノモノデアリマス「第一百三條、第二項ノ場合ニ於テ市町村ハ府縣費ノ分賦ニ關シ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得」ト云フヲ加ヘタイト申ス旨趣ハ此第百三條ノ場合ハ府縣ゴザイマシテ府縣稅ト違ヒマスノア、此府縣費ハ市町村ニ向クテ分賦スルト云フコトニテクテ居リマスル、然ニ其分賦ヲ受ケタル市町村ハ本法案中ニ於テ異議ヲ申立テルコトヲ許シタ場合ガ一向ゴザイマセヌ、ソレ故ニ此府縣費ノ賦課徵收ニ對シテハ結局各個ノ人民ガ告知ヲ受ケテ其時分ニ始メテ法律ニ違ヒタ賦課法デアルトカ又錯誤ガアルトカ云フ如キ廉ニ對シテ異議ノ申立ヲナシ得ラレマス切リテ肝腎ノ分賦ヲ受ケテ然シテ異議ヲ言立テルト申スコトハ隨分爲シ惡イ又錯誤ノモノデアルト云フコトヲ知リツ、モ異議ノ言立ガ出來マセヌノデ據ロナク其ノ町村ノ人民ニ割合分賦ヲシテ告知セヌケレバナリマセヌ、サウナリマスト段々小サクナリマスカラ法律ニ違ヒタ廉デモ又錯誤ノアル廉デモ一個人トシテ其分賦ヲ受ケテ然シテ異議ヲ言立テルト申スコトハ隨分爲シ惡イコトデアリマシテ多クハ面倒ヤ手數ヲ厭ヘバ届從シテ仕舞フト云フコトヲ免レマセヌ次第デアリマス、夫レ故ニ本員ノ望ミマスノハ府縣費ノ賦課ヲ受ケタ市町村ハ之ヲ市町村ノ人民ニ分賦ノ告知ヲナサナイ前ニ於テ市町村自ラガ一個ノ法人デアリマスカラ其分賦ニ對シテ違法デアルトカ若クハ錯誤デアルト認ムル時分ニハ異議ノ申立ヲ許ス方ニ致シタイト申スノガ趣意デゴザイマス、サウ致シマスルト從テ此原案ノ第一項ガ第三項ト下クテ參リマシテサウシテ「前項ノ」ト申ス所ヲ「前二項ノ」ト「二」ノ字ヲ加ヘマシテ其次ノ第三項ハ第四項ト改メマシテサウシテ「使用料及手數料ノ徵收ニ關シテモ亦第一項及第三項ノ例ニ依ル」ト此「第一項及第三項」ト申ス字ヲ以テ「前記二項ノ」ト申ス字ニ變ヘマスノデ、サウナリマスルト第四項ハ無論單ニ第五項ト繰下クテ參ル次第デアリマス、修正ハ是ダケノコトデゴザイマシテ、要スル所府縣費ノ賦課ガ各個人ニ渡ヒテ始テ法律ニ違ヒテ居ル錯誤デアルト云フコトノ異議ノ申立ノ出來ルモノヲ、ソレヨリ前ニ團體タル市町村ガ分賦ヲ受ケタル節ニ違法ナリ錯誤ナリト云フトキハ最早人民マデ與ヘナイ中ニ異議ノ言立ヲサスルトヲ許シテ置クガ宜シカラウ、手ヲ省キ又人民ノ無知ノ者ヨリハ市町村ノ方ガ多少物モ知テ居ルコトコト故ニ法律モ正シクナルデアラウ、錯誤モ少クナルデアラウト云フ趣旨デゴザイマス、是ハ俄ニ氣附キマシタコトデゴザイマスカラ固ヨリ定規ノ贊成ヲ得テ居リマセヌ、ドウゾ御贊成下サルコトヲ……

(三浦安君「セウ一度、二遍程願ヒマス」ト述フ)

○松岡康毅君 此第百十五條ノ第二項デゴザイマス、ソレヲ斯様ナ風ニ致シマス「第一百三條第二項ノ場合ニ於テ市町村ハ府縣費ノ分賦ニ關シ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其告知ヲ受ケタル時ヨリ三箇月以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得」ソレカラ「二項」「三項」ト致シマシテ「前項」トアル所

ノ中ヘ「二」ノ字ヲ一つ加ヘマシテ「前一項」ト直シマス、ソレカラ「二項」ハ「四項」トナリマシテ其中ノ文ガ「使用料及ヒ手數料ノ徵收ニ關シテモ亦第一項及ヒ第三項ノ例ニ依ル」ト斯様ナリマスドウゾ御贊成ヲ……

○天春文衛君 少シ了解致シ兼ネマスルカラシテ松岡サンニ承リタウゴザイマスガ今ノ御説デアリマスルト云フト此府縣稅杯ノ賦課ト云フモノハ或ハ地租一圓ニ附イテ幾ラ又戸數一戸ニ付テ幾ラスウ云フコトニナクテ來マスヤウニ心得マス、然ルニ町村ガ法人トシテ之ヲ拒ムコトガアルト云ヒマスルト其賦課ノ一個人ニ對シテ賦課シタモノヲレヲ町村ガ法人デ其一町村ノ法人トシテソレヲ拒ムト云フコトガ出來マスルモノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、其邊ノ所ガ甚ダ了解ニ苦シミマス、又今ノ御説デ見マスルト或ハ町村ニ單純ニ幾ラト云フコトヲ課シタトキニ之ヲ拒ムト云フ御説デアリマスルガ今日マデノ現今ノ制度デ云フト總テ地租ニ幾ラ或ハ戸數ニ幾ラトスウ云フコトニナクテ居ルヤウデゴザイマス、其邊ノ所ガ少シク了解ニ苦シミマスカラ……

○松岡康毅君 此第百十五條ノ初ニゴザイマスル府縣稅ト云フ方ニハ關係ヲ持チマセヌ、第一百三條ノ所ヲ御覽下サイマシ、百三條第二項「府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其費用ヲ市町村費ニ分賦スルコトヲ得」此第二項ノミノ場合ヲ申シタノデゴザイマス

○天春文衛君 分リマシタ

○松岡康毅君 ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○天春文衛君 贊成シマス

○男爵尾崎三貞君 贊成

○男爵尾崎三貞君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成

○鳥越貞敏君 贊成

○小原重哉君 贊成

○男爵玉松真幸君 贊成

○男爵本多副元君 贊成

○男爵小澤武雄君 贊成

○男爵千家尊福君 贊成

○山田卓介君 贊成

○馬屋原彰君 贊成

○三木與吉郎君 贊成

○三木與吉郎君 贊成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 松岡君ノ勧議ハ成立チマシタ、之ニ付テ決ヲ採リ
マス、松岡君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 起立者 多数

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス、次ハ第百十六條ヨリ第百二十
三條マデ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ第百二十四

條 (特別委員修正案)

第一百二十四條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシ

府縣知事ハ決算ヲ府縣會ニ報告スル前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府

縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意
見ヲ決算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ内務大臣ニ報告シ茲其ノ要領ヲ告示スヘシ

○周布公平君 政府委員ニチヨット質問ヲ致シマス、百二十四條ニ「決算ハ

次ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシ」ト原案デハゴザイマスルガ次ノ
通常會ト申レマスレバ即チ現今行ハレテ居ル通ト見ヘマスルガソレデ政府ノ

方デハ其改正案ニ附イテモ差支ハナイト御認メニナツテ次ノ通常トアタノ
デアラウト思ヒマスルガソレニ「翌々年度」ト修正ニナツテ居リマスガサウシ

マスト此原案ノ意味ヨリハ決算ノ報告ガ一年延ビマスルガ元ノ政府ノ立案ノ
趣旨ト併セテ此改正ニナリマシタ方ガ宜シイト政府デハ御思ヒニナルカドウ

テアルカ伺ヒタ

(政府委員 木喜徳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木喜徳郎君) 政府ノ原案ハ唯今御説ノゴザイマシタ通現行法

ニ依リマシタノデゴザイマス、併ナガラ是マデ實際ノ情況ヲ見マスルト云フ

ト次回ノ通常會ニ提出スルト云フコトハ餘程ムヅカシイノデゴザイマス、ソ
レデ多タノ場合ニハ此翌々年ニナツテ居リマスルノデアリマスカラ政府ニ於

キマンテハ現行法ニ從フテサウシテ又成ルベク次ノ通常會ニ提出スルコトヲ
望メデ原案ヲ組ミマシタノデゴザイマスガ實際ニ於テ唯今申上グマスル通り

デゴザイマスカラシテ此委員會ノ修正ノ方ガ或ハ事實ニ適切デアラウト存シ

マスカラ同意ヲ表シマシタノデゴザイマス

○周布公平君 倫ホチヨット伺ヒマスガ實際ハ翌々年度ニナツテ居ルト仰セ
フレマスガ果レテソレガ實際デアリマスカ、而シテ郡會ノ方モ矢張翌々年ノ
通常會ニナツテ居リマスガ、ソレハ餘程實際ハ容易イコトデアラウト無論次ノ

通常會デ出來ヤウト思フノデゴザイマス、其邊ハドウデゴザイマス

○政府委員(木喜徳郎君) 實際ハ唯今申シマシタ通り大抵翌々年ニナツテ

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第百二十五條ヨリ第百四十一條マデ

○議長(公爵近衛篤脣君) 委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 「異議ナシ」ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤脣君) 實際ハ唯今申シマシタ通り大抵翌々年ニナツテ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 第百四十二條
(特別委員修正案)

第一百四十二條 明治二十三年法律第三十五號府縣制ノ規定ニ依リ選舉セラ
レタル府縣會議員府縣參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ
本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十五號府縣
制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ府縣會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモノノ
改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第
百四十三條ヨリ第百四十七條マデ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)
○三浦安君 政府委員ニ質問ヲ致シマス第百四十條……

○議長(公爵近衛篤脣君) 三浦君ニ御注意シマスガ其處ハモウ濟ミマシタ百
四十條ハモウ濟シテ居リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 目錄ハ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵中川興長君) 然ラバ二讀會ハ是ニテ終リマシタ

(「賛成」ト呼フ者多シ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ二讀會ヲ開キマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 本案可決ト認メテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ之ニ確定致シマシタ……郡制改正法律案第
一讀會ノ續、是ハ報告ハ……萬里小路伯爵ニチヨウト御尋致シマスガ此記名
投票ノ要求ハ……

○伯爵萬里小路通房君 ソレハモウ取消シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 本案第二讀會ニ移スヤ否ヤノ決ヲ取リマス、二讀
會ニ移サントスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ二讀會ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 郡制第一章總則、第一條……

○男爵中川興長君 直ニ第二讀會ヲ御開キヲ願ヒマス

(「賛成」ト呼フ者多シ)
○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、次ハ第二條是ハ船

越君ノ修正ガ出テ居リマス

○男爵船越衛君 此二條ノ修正モ今ノ府縣制ノ修正ト同一デゴザイマレテ其

節既ニ理由ヲ述ベテ置キマシタデ更ニ述ベマセヌ、是モ矢張私ハ法人トシノ四字ヲ削除シタル方ガ宜イ此理由ハ前ニ述ベマシタルカラ述ベマセヌ、御賛成ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 船越君ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、之ニ賛成ノ諸君ニ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 少數ト認メマス、原案ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 第三條ヨリ第十條ノ終リマデ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第十一條

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第十一條

(特別委員修正案)

第十一條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數町村ノ區域ニ依リ選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉ヲ管理スル町村長ニ之ヲ送付スヘシ

選舉人其ノ住所ヲ有スル町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ前項ノ期日マテニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住所地ノ町村長ニ届出ツヘレ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場又ハ其ノ他ノ場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前項ノ手續ヲ爲スコト能ハシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡長町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ郡内ノ各選舉區ニ涉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ適用ス其ノ郡内一部ノ選舉區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以内ニ該選舉區ニ於テノミ行フ選舉ニ之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ期日前七日マテニ修正スヘ

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ
確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書若ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第十二條第十四條

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、次ハ第十五條

(特別委員修正案)

第十五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投票函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

選舉人ニシテ自ラ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ市町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印投票セシメ其ノ由ヲ投票錄ニ記載スヘシ

○侯爵細川護成君 第十五條ノ六項デアリマスガ是ハ府縣制改正法律案ノトキニ小澤君ヨリ發議セラレマシタ案ガ出テゴザイマス此方モドウカ政府案ニ復活ヲ希望致シマス

○伊澤修二君 賛成

○男爵小澤武雄君 賛成

○三浦安君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○男爵南岩倉具威君 賛成

○男爵酒井忠弘君 賛成

○三田昇馬君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○男爵本田親雄君 賛成

○伯爵正親町實正君 賛成

○中西光三郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 修正ノ動議ハ成立チマシタ之ニ賛成ノ諸君起立

起立者

多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 過半數ト認メマス、次ハ第十六條

(特別委員修正)

第十六條

左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ

二 投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但レ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ委員會ノ方ニ決シマス、次ハ十七條ヨリ五十五條マテ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス次ハ五十六條

(特別委員修正案)

第五十六條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ郡會ニ代テ議決スル事

三 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ト對シ意見ヲ述フル事

四 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財產及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 郡費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定ヲ議決スル事但シ法

律命令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 郡ニ依ル訴願訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事

其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、ソレカラ五十七條ヨリ九十二條マテ

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、次ハ九十三條、是ニハ松岡君ノ修正ガアリマス

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○松岡康毅君 是ハ唯今ノ府縣制ト殆ド同一ナモノデゴザイマレテ僅ニ文字ガ違フバカリデゴザイマスルガ此三條ノ第一項ヲ一ツ加ヘマシテサウシテ唯

今ノ本案ノ第一項ヲ第二項トシテ更ニ此所ヘ繰入

致シタリト申シマスルコトハ斯様ナモノニアリマス「郡費ノ分賦ニ關シ町村ニ於テ其分賦ノ違法若ハ錯誤アリト認ムルトキハ其告知ヲ受ケル時ヨリ三ヶ月以内ニ郡長ニ異議申立ヲ爲スコトヲ得」是ハ御覽ノ通ニ九十三條以下手數料徵收ニ關スル告知ヲ受ケタル者ガ異議ノ申立ガ出來ルト申スコトヲ規定シテゴザイマスルガ前ノ府縣制ト凡ソ同意味デゴザイマシテ八十九條以下ニ郡費ト申スモノガ澤山ゴザイマス此郡費ハ矢張市町村ニ分賦スルコトニナシテ居リマスソレデ其郡費ノ分賦ヲ受ケタル市町村カラ直ニ違法若クバ錯誤アリト認ムルトキハ異議ノ申立ヲ許スト申スコトハ先刻ノモノト同ジ理由デアリマス、サウナリマスルト第二項ヲ第三項ト致シマシテ前二項ノ異議ハ云々ト致シマスサウシテ第二項ヲ三項ト錄下ゲマス、理由ハ前申シマシタ所ト同一ニアリマス

○中西光三郎君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵本田親雄君 賛成

○男爵千家尊福君 賛成

○男爵菊池武臣君 賛成

○男爵南岩倉具威君 賛成

○周布公平君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○籠手田安定君 賛成

○三木與吉郎君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○馬屋原彰君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 修正動議ハ成立チマシタ之ニ附イテ決ヲ採リマス、松岡君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ百二條

(特別委員修正案)

第一百二條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ郡會ニ報告スヘレ

郡長ハ決算ヲ郡會ニ報告スル前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ府縣知事ニ報告シ茲其ノ要領ヲ告示スヘシ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ百

三條ヨリ百二十三條マテ
○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ百二十四條

(特別委員修正案)

第一百二十四條 明治二十三年法律第三十六號郡制ノ規定ニ依リ選舉セラレタル郡會議員郡參事會員ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ職ヲ失フ

本法發布後施行ノ日ニ至ルマテノ間ニ明治二十三年法律第三十六號郡制ヲ施行シタル府縣ニ於テハ郡會議員ノ改選ヲ要スルコトアルモ其ノ改選ヲ行ハス議員ハ本法施行ノ日マテ在任ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、百二十五條ヨリ

末條マデ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ原案ニ決シマス、ソレカラ元ヘ戻リマシテ

目錄 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ原案ニ決シマス

○男爵中川興長君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 直ニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ三讀會ニ移リマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナケレバ可決ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ是ニテ可決確定致シマシタ

○周布公平君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○周布公平君 今朝御配付ニナリマシタル政府提出耕地整理法案、是ハ餘程條數モゴザイマシテ事柄モ面倒ナコト考ヘマスルガ故ニ此際第一讀會ヲ開カレマシテ特別委員ニ付託ニナリマスマダケノコトニ相成リタイト思ヒマス、願クハ御賛成ヲ……

○男爵渡邊清君 賛成

(其他) 賛成ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤脣君) 唯今ノ緊急動議ハ御異議ハゴザイマスマイカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ耕地整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

耕地整理法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年三月三日

衆議院議長片岡健吉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

耕地整理法案

耕地整理法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠ノ變更廢置ヲ行フヲ謂フ

一人ニテ自己ノ所有地ノ整理ヲ施行セントスルトキハ第二條第五條第九條第十條第十二條乃至第十六條第二十六條第三十條乃至第三十二條及第五十一條ノ規定ニ限り之ヲ適用又ハ準用ス

第二條 整理地區ノ面積ハ特別ノ事情アルニアラサレハ三十町歩ヲ下ルコトヲ得ス

第三條 耕地ニシテ特別ノ價值用途アル土地及耕地ニアラサル土地ハ其ノ所有者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ストキハ其ノ全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得但シ府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ公用ニ供スル土地、宅地、名勝地、古墳墓地、墳墓地、社寺境內地、鐵道用地及軌道用地ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 建物アル宅地又ハ鐵道用地ハ其ノ建物ノ所有者及登記ヲ爲シタル第三權利者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス第五條 御料地、國有地又ハ官ノ用ニ供スル土地ハ主務官廳ノ認許アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第六條 整理施行ヲ發起セントスル者又ハ整理委員ハ市町村長ノ證明ヲ得テ整理地區ヲ管轄スル登記所、土地臺帳所管廳又ハ市役所、町村役場ニ對シ無償ニテ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得シ無償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ整理施行ノ爲溝渠、堤塘又ハ道路ノ敷

第七條 參加土地所有者ハ整理施行中其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルモ

地ニ充テタル土地ニ付テハ規約ヲ以テ補償ノ規定ヲ設タルコトヲ得

第八條 整理施行ノ爲必要アルトキハ整理地區内ノ工作物、木石等ヲ移轉シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘン

第九條 整理地區ニ編入シタル土地ヲ讓受ケタル者ハ整理ニ關シテ其ノ讓渡人ノ有スル一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十條 整理施行ノ爲國有ニ屬スル溝渠、堤塘、道路等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル土地ハ無價ニテ之ヲ參加土地

所有者ニ交付ス

整理地區内ニ開設シタル溝渠、堤塘、道路等ニシテ前項ノ規定ニ依リテ廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無價ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十一條 參加土地所有者ニハ從前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トレ換地ヲ交付スヘシ但シ地目、面積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル

場合ニ於テ從前ノ土地ト換地トノ價額ノ差ハ金錢ヲ以テ之ヲ清算ス

數筆ノ土地ヲ分合シテ換地ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ割當ツヘシ

第十二條 整理地區ニ市町村以上ニ涉リタル場合ニ於テ換地トシテ交付スル一筆ノ土地ハ二市町村以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條 整理施行中土地ノ區畫形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス

第十四條 整理地區ニ編入シタル土地ノ地租ハ其ノ地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スルマテ從前ノ地域、地目、地價ニ依リテ之ヲ徵收ス

第十五條 整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 整理施行ヲ爲シタル爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登錄ヲ爲ストキハ登錄稅ヲ免除ス

第十七條 本法ニ於テ參加土地所有者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ第五條ノ土地ニアラサル土地ヲ所有スル者ヲ謂フ

第十八條 整理地區ノ屬スル市町村及其ノ隣接市町村ニ住所ヲ有セサル參加土地所有者ハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ニ委任シテ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理セシムルコトヲ得

第十九條 發起人又ハ整理委員ハ第二十二條第二十六條第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且之ヲ第四條ニ依ル建物所有ノ氏名住所ヲ通知スヘシ

代理人ハ二人以上ノ參加土地所有者ヲ代理スルコトヲ得乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ

第二十條 整理施行ヲ發起スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト
二 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ面積整理地區ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

三 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ地價總額ノ三分ノ二以上ナルコト

前項ノ條件ヲ具備シタルトキハ發起人ハ整理施行ヲ發起スル旨ヲ市町村長ニ届出ヘシ

第二十一條 發起人ハ發起ノ爲必要アルトキハ市町村長ノ認許ヲ得テ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第二十二條 發起人ハ設計書及規約ヲ作リ地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出しシ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理ニ因リテ得ヘキ利益

二 整理施行ノ方法及順序

三 整理地區及之ニ隣接スル土地ノ現形圖

四 整理豫定圖

五 工事ノ着手及竣工ノ時期

六 整理費用及夫役ノ豫算

七 整理豫定圖

一 整理總會ノ招集及會議ノ方法

二 整理委員ノ員數、職務及職務執行方法

三 處務ニ關スル規定

四 補償金評定ノ標準

五 發起及整理ノ費用並夫役ノ賦課徵收方法

六 整理中土地使用ノ方法

七 換地割當及增步地處分ノ方法

八 第二十五條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集シテ設計書及規約ノ議定ヲ求ムヘシ

第二十六條 創業總會ニ於テ設計書及規約ヲ議定シタルトキハ發起人ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ之ヲ差出しシ整理施行ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十七條 整理施行ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集スヘシ此ノ總會ニ於テハ參加土地所有者整理委員ヲ互選ス

第二十八條 參加土地所有者ハ整理施行ノ認可ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス但シ第三條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ整理事地區ニ編入シタル土地ノ所有者ハ認可公告ノ日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖第三條第二項ノ規定ニ依リ整理事地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過ス

訴願ノ裁決前ニ於テハ整理工事ニ着手スルコトヲ得ス

三十 第二章 發起及監督

三十一 第二十九條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖第三條第二項ノ規定ニ依リ整理事地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過ス

ルニアラサレハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス
第三十條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命ス
ルコトヲ得

第三十一條 設計書ニ定メタル工事著手ノ期限後十二箇月以内ニ工事ニ著手セサルトキハ農商務大臣ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得
第三十二條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ一時整理工事ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第三章 總會

第三十三條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス
第三十四條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ
前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スヘシ
第三十五條 參加土地所有者ハ前二項ノ手續ニ反シテ爲シタル決議ニ對シ異議ヲ述フ
ルコトヲ得但シ其ノ決議ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
ス

第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ整理地區ノ總面積若ハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集スヘシ
第三十七條 各參加土地所有者ハ一箇ノ議決權ヲ有ス
前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケス但シ其ノ議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス
第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共所有者ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ
第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラスシテ設計書若ハ規約ヲ變更シ又ハ整理施行ヲ停止若ハ廢止セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經ヘシ
第四十條 前條ノ決議スヘシ
第四十一條 創業總會ノ決議及第三十九條第四十七條及第五十三條ノ決議中若ハ廢止後ノ處分方法ヲ決議スヘシ
第四十二條 農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第四章 整理委員ハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス
第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ代表ス
第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理施行ノ責ニ任ス
第四十五條 整理委員ハ設計書、規約及總會ノ決議錄ヲ備へ置クヘシ
第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サンムルコトヲ得

第三十九條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス
第三十四條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ
前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スヘシ
第三十五條 總會ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外整理委員之ヲ招集
第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ整理地區ノ總面積若ハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集スヘシ
第三十七條 各參加土地所有者ハ一箇ノ議決權ヲ有ス
前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケス但シ其ノ議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス
第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共所有者ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ
第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラスシテ設計書若ハ規約ヲ變更シ又ハ整理施行ヲ停止若ハ廢止セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經ヘシ
第四十條 前條ノ決議スヘシ
第四十一條 創業總會ノ決議及第三十九條第四十七條及第五十三條ノ決議中若ハ廢止後ノ處分方法ヲ決議スヘシ
第四十二條 農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第四章 整理委員ハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス
第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ代表ス
第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理施行ノ責ニ任ス
第四十五條 整理委員ハ設計書、規約及總會ノ決議錄ヲ備へ置クヘシ
第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サンムルコトヲ得

第四十七條 整理工事完了シタルトキハ整理委員ハ第十一條ノ處分及増步地ノ處分ニ關シ整理總會ノ決議ヲ經ヘシ
第四十八條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第四十九條 所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土地其ノ所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキモノナルトキハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ金錢ヲ供託ス

第五十條 整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ整理委員ハ參加土地所有者ニ代リテ其ノ手續ヲ爲スヘシ
第五十一條 整理事業完了シタルトキハ整理委員ハ遲滯ナク地方長官ヲ經由シテ前項ノ書類ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
第五十二條 整理委員其ノ職務ヲ終リタルトキハ整理ニ關スル一切ノ書類ヲ市町村長ニ引渡スヘシ
前項ノ書類ノ保存期間ハ農商務大臣之ヲ定ム

第五十三條 整理委員ノ選任及解任ハ總會ノ決議ニ依ル
第五十四条 整理委員ハ總會ノ決議ヲ改選ヲ命スルコトヲ得
第五十五条 整理委員ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ學術技藝アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

第五章 第三權利者
第五十六條 第三權利者ハ整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス
第五十七條 換地ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外從前ノ土地ニ關スル物權又ハ債權ノ目的タルモノトス
第五十八條 整理地區ニ編入シタル土地ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキモノナルトキハ整理委員ハ其ノ金錢ヲ供託スヘシ
第五十九條 先取特權者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ規定ニ依リテ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
第六十條 賃借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但シ第四十八條ノ認可ノ公告アリタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シ解除ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第六十一條 整理地區ニ編入シタル土地ニ地上權者又ハ永小作權者アル場合ニ於テ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサル又ハ前拂シタル借貸ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得
第六十二条 整理地區ニ編入シタル土地ニ地上權者又ハ永小作權者アル場合ニ於テ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサル

民法第二百六十八條第一項但書ノ規定ハ地上權者前項ノ規定ニ依リテ其ノ權利ヲ拠棄シタル場合ニ之ヲ適用セス
 第五十九條第一項但書ノ規定ハ地上權又ハ永小作權ノ拠棄ニ之ヲ準用ス
 第六十二條第六十條ノ規定ハ地上權及永小作權ニ之ヲ準用ス
 第六十三條整理地區ニ編入シタル土地ノ上ニ存スル地役權ハ整理施行ノ後仍其ノ土地ノ上ニ存ス
 地役權者カ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス
 整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ要求スルコトヲ得
 第六章費用
 第六十四條費用及夫役ハ規約ノ定ムル所ニ依リ參加土地所有者之ヲ負擔
 (ス)
 第七章罰則
 第六十五條參加土地所有者費用ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ整理委員ノ請求ニ因リ市町村稅徵收ノ方法ニ準シテ之ヲ徵收ス
 參加土地所有者夫役ヲ供給セサルトキハ整理委員ハ金額ニ算出シテ之ヲ徵收ス此ノ徵收ニ付テ亦前項ノ規定ニ依ル
 第六十六條發起人又ハ整理委員左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ二圓以上五十圓以下ノ過料ニ處ス
 第十九條ノ規定ニ違反シテ公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルト
 一
 二
 第二十八條第一項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シテ整理工事ニ著手シタルトキ
 第三十六條第二項ノ規定ニ違反シテ總會ヲ招集セサルトキ
 四
 第三十九條第四十條ノ手續ニ依ラスシテ整理施行ヲ停止シ又ハ廢止シタルトキ
 第六十七條前條ニ定メタル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至二百八條ノ規定ヲ準用ス
 第六十八條整理施行ノ爲設ケタル標石又ハ標杭ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル場合ニ於テ刑法第四百二十條ニ該當セサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第六十九條整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得
 (衆議院修正)
 第一條本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者共同ニテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畔界若ハ溝渠ノ變更廢置ヲ行フヲ謂フ
 第二條第五條、第九條、第十條、第十一條乃至第十六條、第二十六條、第三十條乃至第三十二條及第五十一條ノ規定ハ一人ニシテ其ノ所有地ノ整理ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス
 第十二條整理地區ニ於テ換地トシテ交付スル一筆ノ土地ハ二市町村以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條整理施行中土地ノ區劃形狀ノ變更及道路、畔界若ハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス
 第十九條發起人又ハ整理委員ハ第二十二條、第二十六條、第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且之ヲ第四條ニ依ル建物所有者及土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲シタル第三權利者ニ通知スヘシ第三十條乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ
 第四十一條創業總會ノ決議並第三十九條、第四十七條及第五十三條ノ決議ヲ爲スニハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス
 第四十九條所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土地其ノ所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキトキハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ金額ヲ供託スヘシ
 第五十八條整理地區ニ編入シタル土地ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキトキハ整理委員ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ
 先取特權者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ規定ニ依リテ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
 第六十六條發起人又ハ整理委員左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ二圓以上五十圓以下ノ過料ニ處ス
 第十九條ノ規定ニ違反シテ公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルト
 一
 二
 第二十八條第一項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シテ整理工事ニ著手シタルトキ
 第三十六條第二項ノ規定ニ違反シテ總會ヲ招集セサルトキ
 四
 第三十九條及第四十條ノ手續ニ依ラスシテ整理施行ヲ停止シ又ハ廢止シタルトキ
 第八章附則

○國務大臣(曾禰荒助君)本案提出ノ理由ハ末尾ニ附イテ居リマスガ附シテ一言申上ゲマス、此案ハ隨分大キナ案デゴザイマス即チ國家的ノ事業ト申シテモ宜イモノデゴザイマス併ナガラ是ハ其趣旨トスル所ハ政府ガ之ヲ發起シテ無理ニヤラサウト云フ方ノ案デハゴザイマセヌ、即チ當業者ノ發起ヲ待チマシテ而シテ之ヲ成就サセヤウト云フ案デゴザイマス、ソレトモウーツ申上ゲテ置キマスノハ土地所有者ノ人數ト所有面積ト又其土地ノ地價トノ三者此三ツノ條件ヲ附シテ其條件ガ具ハッテ居リマセヌデハ成立タヌ譯デゴザリマス、之ヲ極簡短ニ申シマスルバ小民ノ人數ノ多イノガ大農ヲ壓スルコトモナインアラウ又大農ノ地積ヲ澤山持テ居ル人ガ小サイ地主ヲ壓スルト云フコトモナインアラウ又大農ヲ考デ、又其耕地ヲ整理スル所ノ順序ニ付イテモ議決ハ矢張三箇ノ條件ヲ附シテ而シテワレ得成立ヲ告ゲザルヤウ致マシテゴザイマシテドコニモ無理ナ所ハ一ツモナイン考ヘデアリマス、此段申リマス
 ○周布公平君 本案特別委員ノ選定ハ議長ニ委託致シマス、其數ハ九名デアリマス
 ○議長(公爵近衛篤君) 御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス
 ○議長(公爵近衛篤君) 議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ
 (異議ナシ)ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤賢君) 然ラハ其コトニ致シマス
○中村元雄君 私モ此際葉煙草專賣違犯事件ニ關スル法律案ヲドウカ本期ニ成立タセタイト思ヒマスカラ議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○男爵尾崎三良君 議事日程變更ノ動議ニ不同意デアリマス、此次ニ出テ居ル明治三十年法律第十四號關稅定率法中改正法律案ハ先日モ一旦議場ニ上ボリカケテ種々詮議ノ末今日ノ日程ニ上ツタノデアリマスカラ是モ速ニドチックニ決定ニナツタ方ガ然ルベキト存ジマスカラ議事日程變更ハ然ルベカラズト存ジマスデ是ハ順序ヲ逐フテ議スルコトヲ望ミマス

○侯爵細川護成君 贊成

○議長(公爵近衛篤賢君) 中村君ノ動議ニハ異議ナシト云フ發言ハアリマシタガ贊成ト云フ聲ハ開エマセヌガアレハ贊成ト認メテ宜シウゴザイマスカ

ス

○森山茂君 (贊成デゴザイマス) 間違ヒマシタ
○議長(公爵近衛篤賢君) 然ラバ中村君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

少數

○議長(公爵近衛篤賢君) 少數ト認メマス

○議長(公爵近衛篤賢君) 明治三十年法律第十四號關稅定率法中改正法律案衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)

○公爵二條基弘君 委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマスルガ是ハ隨分ムヅカシイ案ニアリマシテナカク委員會ノ節ニモ色ニナ質問ガゴザイマシタ其結果トシテ第一ニ大藏省ノ政府委員ニ此コトニ附イテ種々質問モアリマシテ其節大藏省ノ方ニ於テハ此案ニハ全然同意デアルカト云フコトヲ開キマスレバ決シテ全然同意デアルトハ申シマセヌ滋ニナガラ同意ヲシタト云フヤウナ譯デ確ニ之ニ同意ヲシタト云フコトハ言ヒマセヌ、尙ホ此コトニ關シテハ外交ニ關スルコトアルカラ能ク其邊ヲ薩メルナラバ外務省ノ政府委員ニ聞イテ吳レト云フコトヲレデ又外務省ノ政府委員ヲ呼シテ御報道致シマスル者ニ外事柄ハ外交ニ涉シテ極祕密ノコトデアリマスカラ今此席デハ私ハ德義ヲ以テ申述ベルコトハシマセヌガ何シロ隨分是ハ此案ノ通過スルト否トニ關シテ非常ニ我國ノタメニ權利ノ關係ガアラウト云フコトニ御推測ヲ下サヌテナラバソレデ宜イカト思ヒマス、ソコデ又ソレモ外務省ノ方デソレナラバ同意ト云フコトハドウシテモ出來ナイト云フ譯デモナシ、或局部分ニ於テハ同意ト云フヤウナ意味モ外務省ノ方デ云フ、結局其コトハ關稅ニ關スルカラ大藏省ノ方ニ聞イテ吳レト云フヤウナコトデドレガドレヤラ殆ド捕マヘ所ガナイ説明ヲ聞イテ居リマシタ、農商務省ノ方ノ人ニモ聞キマシタ所ガ農商務省ノ方ノ人デモ餘リ確ナ返答デハナインデゴザイマス、矢張マア是ハ許スガ宜カラウト云フ位ノコトニ止シテシマウテ、之ヲ許シタラ必ズ宜シト云フ斷然タル答辯ヲ聞イテ居ラヌノデアリマス、ソコデ委員會ニ於キマシテモソレノ諸君ノ説明ヲ聞イテ後ニ採決ヲシマシタ所ガ矢張半數ニナリマシテ委員長ガ否決ノ方ニ立チマシタ所デ遂ニ否決ト云フコトニナリマシタノデアリマス、委員會ニ於キマシテノ此贊成ノ方ノ主意ヲ摘要シマスレバ贊成ノ方デハ今日ノ場合ニ於テハ中ニ此輸入ノ魚ガ少イ、即ち昨年アタリデハ北海道カラ來ルノト夫レカラ遠洋漁業デ西伯利亞カラ來ルノトヲ比較シマスレハソレハアリカルカト云フト十分デハナイン、是カラ益漁業ノ方ハ十分ニ獎勵ヲシテ

レカラ益々其アチラノ方ニ於テ魚ヲ取ッテ持シテ來テ此方ヘ輸入セヌケレバナラヌ、是漁業方ヲ獎勵スル所ノ主意デアルカラシテ決シテ斯ウ云フ案ニ反對ヲスルト云フコトハ存ジモ寄ラヌ話デアル故ニ是ハ無稅ニシテ十分ニ獎勵ヲシテ益々魚ヲ持シテ來ルヤウニスルノガ宜シト云フ大要主意デアリマシタ、又反對ノ方ノ主意ハ此通ニ免稅ヲスレバ是ガ帝國ノ人民ノ漁業ヲ業トスル者ノタメニ全クナルモノナラバ宜シ、併ナガラ今日マデノ景況ニ依レハ即チ決シテサウ云フ譯ニハイカナイ、年々アチラデ取フテ持フテ來ルト雖モチ詰リ今日ノ場合ニ至シテハアチラデ十分ニ利益ヲ取フテ其他ノモノヲ持テ來ルカラ此處デ免稅ヲシタカラト云フテモ決シテ免稅ニハナラナイ

全ク矢張外人ノタメニ免稅ヲスルヤウナ結果ニナル、シテ見レバ我邦ノ北海道ニ於キマシテモ漁業ヲ獎勵ヲ致シタ所ガ、是ガ免稅ニナレバ安イモノガ這入シテ來ルニ相違ナイ、サウシテ北海道デハ矢張ソレノ税率ヲ取ラレト云フコトニナリマスレバ益々漁業ニ從事スル者ノ不利ヲ來タスニ相違ナイ、故ニ外國カラ來ル物ハ矢張稅ヲ取フタ方ガ宜イト云フヤウナ譯デ、其他ノコトニ至リマシテハ祕密ニ渉ル所ガアリマスカラ申シマセヌガ、マア大要ヲ摘メバ反對贊成ノ議論ハ右ノヤウナ譯デアリマシテ其結果否決ニナツタ譯ニアリマスカラ、ドウカ此コトハ漁業ヲスル者ニ稅ヲ課スル課セヌト云ニバカリ考ヘズシテ、即チ或ハ此案ノ通過如何ニ依シテハ國家ノ權利ノ振張ニ關スルト云フヤウナコトニナル程ノ大問題ト御考下サイマシテ、委員會ノ報告ノ通否決サレンコトヲ希望致シマス

○籠手田安定君 私ハチヨクト委員長ニ伺ヒマス、私ハ北海道ノコトニハ陳ウゴザイマスルシ、ソレカラ海外ヨリ鹽魚ノ參リマス其狀況ヲ調べタコトモゴザイマセヌカラヤクパリ、穀ウゴザイマス、テ私ガ一ツ御詫申シタイノハ越後ニ於キマシテ……越後ノ有様ヲ知シテ居マスルガ、浦潮斯徳ニ越後ノ者ガ參リマシテ、何ヲ以テ行クカト云フト、此方カラ持シテ行クノハ梨子ノアルトキニハ梨子ヲ持シテ行ク、ソレカラ植木鉢、椿トカ何トカ云フモノヲ持テ行シテ、ソレカラ米ヲ持シテ行キ、酒ヲ持シテ行ク、酒ハ稅ガ掛フテ引合ハヌヤウニナル、テ何ヲ持シテ行クテモ片道デ、日本カラ行クニハ色ニ品物ガアルガ向カラ持シテ歸ルモノガナインデゴザイマス、ソコデ困却ヲシテ漸ク浦潮斯徳ヲ相手ニシテヤラウト云フ者ガ、コツチカラ持シテ行クバカリテ向フカラ持シテ來ル物ガ一向ナシ、ソコテ奮發シテヤツテ見テモ皆失敗スル、漸クニシテ持シテ來ル物ハ何カト申シマスト鹽魚即チ鮓、ソレヲ漸ク内地ニ持シテ來ル、ソレテ漸ク奮發シテ今申シマシタ所ノ僅ノ物ヲ持シテ行クテ、先キザキハ大交易ヲヤラウト云フ緒ヲ開イテモドウモ失敗ヲシテイカヌ、ア鹽魚ヲ持シテ來ル、ソレニ稅ヲ掛ケルト云フコトヲハ越後アタリノ者ガ浦潮斯徳ヲ當テニ貿易ヲシャウト云フコトハ到底出來ナイコトニナリマス、其邊ノコトハドウ云フ御調ニナリマシタカ、委員會ニ於キマシテ餘程是ハ越後人ノミナラス、アノ北海ノ方ニ面シトル所ノ人民ノ前途浦潮斯徳ノ方ニテ金儲スル者ハ、此漁業ノ一點ハ大ニ其目的ト私ハ考ヘテ居リマス、其邊ノ御調ハドウデゴザイマスルカ、ソレヲ一應伺ヒタイ

○公爵二條基弘君 成ル程其邊ノ事モ田中君又村田君アタリノ御委シテ御方カラ御質問ガゴザイマシタガ併ナガラ何分ニモ今申シマス通其事ヲ委シク申スノハ斯ウ云フ席デハ差支ガゴザイマス、併ナガラ先づ摘ミマスレバ唯今之ヲ其廢スト云フコトニナレバ成ル程其御話ノヤウナ所ニハ便利ニハゴザイマスセウカ知ラヌガ、又ソレト共ニ其先キノ利益ト云フモノハ全ク日本人が利益ヲ得ルコトデハアリマセヌ、即チ向フニ行シテ今日デハ已ニ漁權ヲ狹メラレテシマヒマシテ、サウンテ自分等ハ猶ラスルコトガ出来ヌカラ向フデ取フタ

ノヲ買ツテソレニ鹽ヲシテ持ツテ來ルト云フダケノ話デアリマシテ、全クノ利益ハ外人が取ツテ居ルト云フ譯ニナツテ居リマス、此上ニ之ヲ廢シマシタチラバ更ニ又如何ナル成行ニナリマスルカ、委員長モソコマデノ委シイコトヲ委員會デ承知シマセナンダカラ御答ヲスルコトハ出來マセヌ、此上申セバ一己ノ考ヲ申サナケレバナラヌコトニナリマスカラ、其所ハドウカ一ツ他ノ委員諸君カラ御答ナサルカ、又ハ政府委員カラ御答モアラウト思ヒマスカラ、ドチラデモ便利ノ方ニ御質問ヲ願ヒマス

ハ向ウデ籠詰ニモ何モ出來ヌ鮭デゴザイマシテ日本ノ人ガ持テ來ルノ
ニアリマスガ是ハ澤山ニ這入ラウトハ思ヘマセヌ、良シヤ這入シテモ日本
人ガ持テ來ルノテアル、ソレデ稅ヲ掛ケラレマシテハ到底漁業者ガ參レヌ
ト申スコトハ昨年既ニ農商務省デ技師ヲ露領ニヤリマシタ、其技師ガ沿海州
薩哈連島ヲ悉ク調ベマシテ歸リマシタ、此技師カラ親シク承クテ見マシテモ到
底今日斯ノ如キ重稅ヲ掛ケラレマシタラ向ウハ收支相償ハヌカライケヌ、向
フデ一割五分ノ稅ナラ免ニ角、函館ニ參シテ一割五分ノ稅ハ非常ナモノデ、

刻委員長ノ報告中ニモ甚ダ詳シイ事ヲ説明スルコトガ出來ナカツタト云フノ
ハ是ハ外交ニ關係スルコトガアル、是ガ此法案ノ性質トシテドウモ避ケ得ベ

カラザルコトデアル、又私等ハ委員會ニ於テ祕密ニ外務省ノ政府委員カラ
承<タコトガアルカラ之ヲ一二諸君ノ御参考ニ供スルコトガ甚ダ必要ト思ヒ
マスカラ祕密會ヲ請求致シマス

○○○子爵谷干城君
西村亮吉君
谷森眞男君
贊成贊成贊成

○○○伊澤修二君
三田昇馬君
小原重成君
賛賛賛賛成成成

○田中源太良君 賛成
〔其他賛成ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵近衛篤君） 多數ト認メマス
ニ附イテ決ヲ採リマス、祕密會ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者

○村田保君　〔「多數々々」又ハ「少數々々」ト呼フ者アリ〕
○議長（公爵近衛篤齊君）ツレデハ反対ノ諸君ノ起立ヲ……

○子實谷干城君 併シ是ハ若シ其祕密會ガ許サレニヤア私共ハドンドン言ヒ
マス

立ガアレバ反對ヲ立タセルト云ノコトニナツテ居リマスカラ反對ノ諸君……
祕密會ニシナイト云フ方ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛萬智君)「少數々々又ハ「多數々々」ト呼フ者アリ」
少數ト認メマズ、然ラバ祕密會ニ決シマズ

○男爵小澤武雄君 祕密會ハドウナリマシタ
○議長(公爵近衛篤齊君) 祕密會議ニナリマシタ
午後三時四十五分祕密會ニ移ル

午後二時五十分開議
議長(公爵近衛萬智吉) クレアハモウ采決シマス、本案ヲ一讀會ニ多々ベ

シトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○ 駒長（公爵近衛萬齊君） 少數ト謂メマノ
〔多數々々又少數々々ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤君) 起立者 多數ト認メマス

○議長（公爵近衛篤曆君）異議ノ申立ガアリマシテ十人ノ賛成ガアリマスレ
バ……

○子爵久留島通簡君	○○○○○
○松岡康毅君	○○○○○
○男爵西五辻文仲君	○○○○○
○男爵中川興長君	○○○○○
○村田保君	○○○○○
○子爵松平直平君	○○○○○
○子爵一柳末徳君	○○○○○
○男爵玉松眞幸君	○○○○○
〔其他賛成〕ト呼フ者アリ	○○○○○
○村田保君	○○○○○
○是ハ氏名點呼ニナリマセヌケレバ餘程混雜シテ分リマセヌ ○議長(○公爵丘爾翁君)ノダカラ今氏名點呼ニ多ルノデアリマス、異議	○○○○○

ノ申立ノ動議ガ成立シマシタカラ氏名點呼ヲ行ヒマス、ソレデハ今一應念ノ
タメニ宣告致シマスルガ本案ヲ一讀會ニ移スベシトスル諸君ハ贊成、ソレカ
ラ反對、諸君、否決、ベバ、ベレ者也、^{アリ}反對、印シノツウテナレタクニ

○反對小説君　否決ノヘシーブル小説君ノ反對ト例ニテサルヤウニ
○西村亮吉君　一讀曾ニ移スベシトスル者ハ贊成ト言フノデアリマスカ
○議長公（爵近衛篤齊君）　サウデゴザイマス

(氏名黒呼ヲ行フ)
〔伯爵大原重朝君「中御門男爵ノハ達フヤウニ思ヒマス、贊成ト聞エマ
シタ」ト呼フ〕

子爵谷千城君 今ニナツテサウ云フコトハイケマセヌ反対ト聞エマシ
タ(ト述フ)

〔侯爵細川護成君「反対ト聞エマシタ」ト述フ〕
〔子爵小笠原壽長君「賛成ト聞キマシタ」ト述フ〕
〔公爵元清篤音吉〕宿ニ反対ト聞キマシタ

○○○子爵谷子城君議長、未だ分定シテ居リマス
○○○議長(公爵近衛篤長君)氏名姓ノハ、出焉恩文(日上十)

○議長（公爵近衛親王）　此名黒門ノ結果ニ報道致シマス　出席議員百五十一
一、可トスル議員六十九、否トスル議員八十二、本案ハ二讀會ニ移スベカラ
ズト決シマシタ、最早時刻ニナリマシタカラ本日ハ散會致シマス、次ノ日程

八道テ御報致シマス、特別委員ノ氏名ヲ御報致シマス
(太田書記官長朗讀)

子爵林
男爵石田
子爵鳥居
名村
子爵梅小路
周布公
忠文君
泰藏君
吉君
幸君
行君
平君

○議長(公爵近衛篤君) 本日八散會
午後四時六分散會 男爵吉川重吉君 西村亮吉君 五十嵐甚蔵君